

清陵同窓会報

自反而縮雖千萬人吾往矣

第27号 発行：諏訪清陵高校同窓会 〒392-8548 諏訪市清水1-10-1 編集：会報編集委員会 第68回生（昭和37年入学）

21世紀を生きる—現役清陵生と語らう

100余年の伝統を有する清陵高校も20世紀から21世紀へと、新たな時代を歩んでいます。21世紀の清陵生たちはまさに現代っ子。茶髪あり、携帯電話も当たり前。彼らはどんなことに興味を持ち、どんなことを考えて高校生活を送っているのでしょうか。今回、かなり年の離れたOBの68回生と、2年1年の在校生との

座談会を企画しました。自己紹介を試みたら、やはり、「娘が皆さんと同じ年齢で」といった挨拶も出て、親子世代でのコミュニケーションを展開することとなりました。それでも、話が進んでいくにつれ、時代は違っても同じ行事の思い出を語り合い、お互いの心情を受け止めあい、おおいに盛り上がりました。17歳の

凶悪犯罪、政治など社会的な関心から、部活、授業、学友会など清陵でのさまざまな活動の様子にまで話題が広がり、気がつくやうに予定時間をオーバーしたほど。

その有意義なひとときを誌上にて一部再現してみましょう。さて、清陵高校ならではの気骨と精神は現代の清陵生たちにも受け継がれているのでしょうか。



平成13年度 定期総会案内

一、日時 平成13年6月30日(土) 午後1時30分より

一、会場 (財)片倉館

(会場まで上諏訪駅から徒歩で約10分です)

一、議事 ①平成12年度会務報告・会計報告(一般・特別)

②平成13年度事業計画・予算案審議

③その他

一、記念講演 午後2時30分より

講師 建築家 東京大学教授

藤森照信(68回生)

演題 「野蠻ギャルド建築」～自然と人工の間で～

一、懇親会 午後4時30分より

会場 浜の湯(片倉館から徒歩2分)

会費 5000円

前売りチケットは当番学年幹事・同窓会事務局・各支部事務局・学年幹事にて取扱い中。当日受付にても可

(伊藤八郎 0266-52-3769 春日昌明 0266-22-0983
事務局 0266-58-0359)

諏訪清陵高等学校同窓会 会長 宮坂久臣(当番幹事68回生、次年度当番幹事69回生、サブ幹事78回生・88回生)

出席者 <在校生 2 年生>平出翔太／小林勝也／山下亮／小泉成生／森友香／飯島怜奈／佐久志歩／小口佳納子
 <在校生 1 年生>船橋英里佳／上島千史
 <OB>村上和彦／大森尚人／伊藤八郎／浜邦彦／事務局 武居浩明 平成 13 年 3 月 17 日 清陵会館 12:00～3:30

いまどきの高校生って言われるけれど……。

自己紹介

[] は OB

〔司会〕：皆さんこんにちは。今日はお忙しいなか集まっていただき、ありがとうございます。私、68 回生幹事の伊藤です。市役所勤務です。皆さんと同じ学年の娘がいます。まずは簡単に自己紹介をお願いします。

〔大森〕：大森尚人です。この 3 月に末の子がここを卒業しました。私は学生時代に会誌の編集などをやった記憶があります。現在は自費出版の会社をやっています。

〔村上〕：村上です。茅野高校教諭です。高校時代は陸上部にいました。私の息子も 2 年ほど前にここを卒業しています。

〔浜〕：浜と申します。写真大学を卒業し、プロのカメラマ

森：森です。学友会副会長になりましたが、方向性がつかめず困っているので今日のお話をぜひ参考にしたいと思います。女子バスケ部です。

飯島：同じく副会長の飯島です。テニス部です。清陵の新しい部分も古い部分も取り入れて学友会を作っていきたいと思っています。

佐久：佐久です。文化副委員長で女子バスケ部です。

小口：同じくバスケ部の小口です。毎日部活ばかりしています。学友会事務局の仕事をしています。

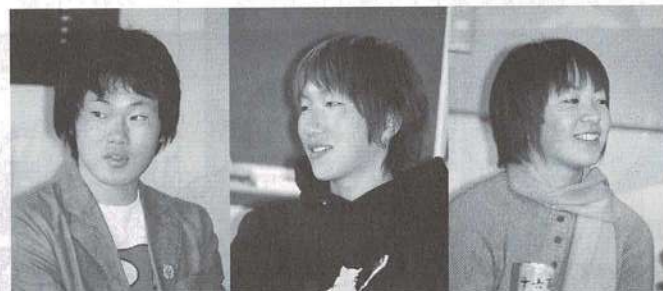
船橋：船橋です。私もバスケ部です。清陵に入ってからまだ 1 年なので、どこが清陵らしきなのか、まだわかりませんが、まだ卒業まで 2 年あるのでそのうちに清陵らしさ、清陵の



司会者 村上和彦

小泉成生

平出翔太



小林勝也

山下 亮

森 友香

ンを 5、6 年やっていましたが、今は宝飾会社役員をしています。高校時代はバスケット部で、私たちやその 2 年下くらいまでは全国大会に出るほど強かった。

〔武居〕：僕は 56 回生。といっても想像つかないでしょうが、第二次世界大戦が終わって清陵高校にも女子生徒が 10 何人入ってきた時代。昭和 25 年頃。もと清陵高校の生物の教師で、現在は同窓会事務局に関わっています。

平出：2 年生の平出です。放送委員長を務めています。

小林：小林です。陸上部です。報行委員長を勤めています。

山下：山下です。バドミントン部です。監査委員です。

小泉：学友会会長をしている小泉です。部活は吹奏楽部です。

よさを見つけて誇りにしていきたいと思います。

上島：私もバスケ部で、勉強よりバスケばかりの日々ですが、楽しくやっています。監査委員を勤めています。

茶髪・ケータイどう思う？

〔村上〕：私たちが高校 1 年（昭和 37 年）の時、衛星中継でアメリカの映像がすぐ送られてくるようになったのが大変印象的なできごとでした。まさきに飛び込んできたのが当時の大統領の暗殺事件。高校 3 年の時には東京オリンピックがあり、新幹線開通など日本の高度経済成長を実感するようなことが続きました。そうした豊かさの予感があり、

麗人酒造株式会社

諏訪市諏訪二一九一二
 電話 〇二六六（五）三三二（代）



諏訪浪漫麦酒

日本酒で培った技術と豊富な水資源から新たに琥珀色した雫ができあがりました。

その名は「諏訪浪漫ビール」

清酒醸造にも使われている霧ヶ峰高原からの伏流湧水と、諏訪名物である温泉を仕込水として、厳選された大麦芽とアロマホップのみで丁寧に醸造しました。味わい深くキレがあり、清酒同様口当りよいビールです。

一方では四日市ぜんそくなど公害も出始めた頃でした。あれから30数年。今の清陵生は何を考えているのかを知り、全国にいる卒業生に伝えたいと思います。ぜひ、積極的に意見を述べていただきたい。

まず、現代の高校生の特徴的なことのひとつとして、短いスカートのルーズソックス、茶髪、携帯電話などが挙げられますが、どう思いますか。

小泉：頭髮に関しては個人の自由じゃないか、別に茶髪でも悪いことではないと思っています。ただ、ある年代の方には不快なようなので、批判的に言われたりすることもあるわかってる。携帯電話については、僕も持っていますが、モラルを持って使うことは大事。料金を親に払ってもらっていることは頭にあります。



参加OB 68回生 伊藤、大森、村上、事務局武居(56回生)

〔村上〕：清陵には茶髪の人はどのくらい？

小泉：3割ぐらいでしょうか。

〔大森〕：僕は子供が3人いまして、3人とも高校時代は夏休みとか春休みになると髪をいろいろいじってましたね。最初は親としても抵抗があった。そのうちに慣れてきて当たり前前に思えてきました。真ん中の娘は高校時代1年間イギリスへ留学しまして、イギリスでも髪を染めているかと思ったら全然していなかった。日本に帰ってきたらまた染めた。要するに社会的な影響かなとも思いますが。

平出：なぜそうするか、といえば、モテたいんです(笑)。先輩方の時代には違う方法でモテようと努力したことがあったでしょうし、僕たちの時代は髪をいじったりしてモテようとしている。

〔村上〕：我々の時代の正統なスタイルは学生帽に詰め襟の学生服、下駄履きか運動靴。ちょっとスタンダードからはずれた人は革靴をはいたり髪を伸ばしていた。あれがモテたいということだったのかな(笑)。

なくせる殺人事件—もっとコミュニケーションを政治には関心ないが田中知事は新鮮

〔村上〕：昨今、17歳の起こす殺人事件などが続き、社会的な関心を集めました。動機は「人を殺してみたかった」とか恐ろしく自己中心的なもの。皆さんも同じ年代にあるわけですが、どんなことを思いましたか。

小泉：親が子供を、子供が親を殺す事件が相次ぎ、人を殺すという普通じゃ考えられないことが平然と起こっている。ニュースを聞くほうも「ああ、またか」みたいな感覚になりつつあるのが恐ろしいことですね。誰かがやっているから自分も、と簡単に手を出すような考えを持つ人もいるだろうし。



飯島怜奈

佐久志歩

小口佳納子

飯島：そういう犯罪をしてしまう人たちには話し合いがないのでは。もっとコミュニケーションを大切にしたら10代の犯罪も少なくなると思います。

小林：飯島さんと同じ意見です。親とか友だちとのコミュニケーションがすごく大事だと思う。僕が中学の頃、よく親父が酔っぱらって帰ってきて寝ている僕を起こしていろいろ話したことがあったんですが(笑)、その時の言葉で今でも覚えているのは「人の先頭にたってやることも大事だけど、みんなの視点より後ろに下がって周りを見て、まとめていくのも大切だ」と。僕にとってその言葉も大事だし、親と話し合えたこともすごく大事なことで心に残っていますね。

上島：私は小泉君と同じことを感じています。もっと小さい頃は、人を殺すとか銃の乱射とかはすごく恐ろしい、い

品質一筋

造り手である私たち自身が舌鼓打って飲む酒。
大切な家族に安心してすすめられる酒。

親しい友人に胸を張って贈ることができる酒。

私たちはお客様にそんな真澄をお届けしたいと願っています。

だから、品種や産地が分からない米は買いません。

製造工場のデイトールには徹底して



こだわります。

一〇〇%自社製造を守りぬき、純米酒比率の向上にも力を注いできました。

創業から三三九年目となる今年も、私たちは

お客様のお顔を自らの家族や友人の顔に重ね合わせながら

美酒を醸し続けます。

信州が生んだ天下の銘酒

真澄
マスミ

清酒真澄醸造元

宮坂醸造株式会社

〒392-8686 長野県諏訪市元町1-16

TEL.0266-52-6161 FAX.0266-53-4477 www.masumi.co.jp

けないことだと思っていたのが、これだけ事件が多いと、その感覚が薄れていくようでこわい。人を殺す、人が死んだということがニュースでもありふれてきているので、死ということがわからなくなってきているような気がします。〔村上〕：うーん、これだけ事件が多いといろいろ思うところはあろうでしょうね。皆さんの世代からコミュニケーションという観点が出たことに安心もしています。命を大切にすること、これをぜひもう一度考えていただきたい。

社会的なこと、政治への関心はどうですか。我々が入った頃は安保闘争の余韻が残っていた時代。諏訪でも清陵生

が「市民の皆さんもう一度考えてください」と駅前デモをしたことがありました。社会の政治的関心が盛り上がり、高校生も意志表示をしたということです。皆さんはいかがでしょう。

小泉：政治家を見ていると私利私欲で動いているようにしか見えない。そういう人たちが政治をして、どう国がよくなるんだと疑問に思います。そのなかで田中知事の登場は新鮮な感じで、興味を持って見ています。

小口：私は政治にはあまり関心がないけど、田中知事のことは身近に感じます。

清陵らしさって何だろう。「質実剛健」、「自反而〜」は受け継がれているか。

清陵大好き

〔村上〕：次に、清陵についての感想などをお聞かせください。

佐久：入学する前は清陵ってもっと高いレベルの雰囲気イメージしていましたが、実際2年間生活してちょっと違うかなとギャップを感じる部分があります。うまく言えないんですが、志気が低いというか。

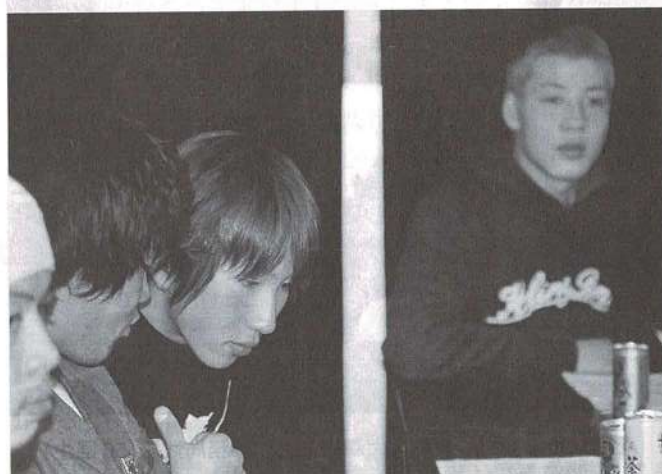
船橋：私がこの学校を志望したのは、体験入学で雰囲気に惹かれたんです。ここから眺める景色も印象的で、毎日この景色が見られるならいいなと思いました。

平出：僕は入学して2年間の間に掃除は4、5回しかしていません、ごめんなさい（笑）。でも、清陵は大好きです。志気が低いという話ですが、みんなも清陵が好きだという気持ちはあると思う。

森：私は近いこと、大学に行きたいので進学校ということで清陵を選びました。入ってから、先輩や友人と交流する

中で、自分を持つことの大切さを学びました。それで、何でも自分で決められる、自分の意見が言えるようになった。

〔伊藤〕：私が清



陵生だった頃を思い出しての清陵の魅力という、一人ひとりがはっきりと主張を持っていたんじゃないかと思います。主張があるということは悩んでいたことでもあろうし、そういう主張や悩みをぶつけ合う場もあった。もうひとつは、OBになって、それぞれ社会に巣立った時に、身分、職業それぞれ違うわけですが、まだ自分の考えを確認しているつながりがありますね。これは清陵のよさだな、と卒業してから実感しています。今夜も68回生の集まりがありまして、今いちばん多い話題は親の介護、それから子供の進学、就職、結婚です。

〔村上〕：よく「質実剛健」とか「自反而〜」とか清陵ならではの校訓が言われてきました。それらの言葉は今も清陵の中に生きていますか。



船橋英里香



上島千史

水晶時計

株式会社 **タカホ**

長野県茅野市宮川4900 ☎(0266) 72-6111(代)

アメリカ工場……ロスアンゼルス

バンコク工場……タイ国バンパイン工業団地

自動組立機の



マイクロエンジニアリング株式会社

長野県茅野市金澤5387-1 ☎(0266) 72-6551(代)

登壇する人が少ない談論会

小林：「自反而～」については1、2年で体育の先生に教えてもらいましたが、今まで気にしたことがなかった。今の清陵生は、談論会を開いてもなかなか真剣に主張してくれる人が少ない。



平出：「質実剛健」は諏訪中の時代からあったそうですが、もはや時代が違うと思う。今は戦後じゃないですから。豪遊しなければいいかな、という程度に捉えています（笑）。今、小林君から談論会の話が出ましたが、俺は談論会は皆勤賞。ああいう場があることはとてもラッキーだと思うが、意見を言うやつがいないのは残念です。

飯島：今の清陵生は受身になっている部分が多いと思う。談論会にしても他の行事にしても、「行ってくれ」と言われて参加する人が多くて。自主的じゃないんです。

〔村上〕：談論会は今どんなふうに行っているのかな？

山下：卒業式の後とか、新入生歓迎会とかの後にやります。出てくる人数が少ない。

〔大森〕：談論会は主に誰が主催するんですか？

山下：実行委員会。

〔大森〕：少ないというのはどのくらい少ないの？

小泉：壇上に上っていく人が少ないんですよ。聞いている人は結構多い。談論会のみやるぞ、として集めることがなく、何かの行事のついでなので、自らの参加の意思はわからないのですが。

〔村上〕：学友会のことに話題を移しましょうか。OBの方にとっては現在どんな行事があるのかと関心があるところではないでしょうか。

学友会行事

小林：新入生歓迎会、歓迎乗艇、クラスマッチ、清陵祭、湖周マラソン、端艇大会、談論会といったところですね。

〔武居〕：クラスマッチは、年何回？

小林：春2回、秋1回の計年3回です。

〔武居〕：何をやるんですか、球技ですか？

小林：毎回内容は変わります。バスケやバレーなどいろいろあるんですが、実力の平等を期するため1回目は部員の参加OKで、2回目は部員以外の人たちが集まってやるという方法です。去年は相撲のクラスマッチなどもやっていました。

〔武居〕：我々の時は盆地一周駅伝があったものだが、交通事情のせいかやらなくなったね。

〔村上〕：行事は多いと感じます？それとも少ない？

山下：少ない。

小泉：新しい行事やろうとしても、学校にも年間スケジュールが固まっているから、学友会行事の割り込む余地がない。できても土日、祝日になってしまうんです。

活動に教師の介入は不要

〔村上〕：クラブ活動の現況はいかがですか。加入率とか、特に今活躍しているクラブは、とか。



小泉：僕は吹奏楽部に所属していますが、文系の部活は外から見ても正直なところあまり活動がわからない。発表会などがなければ。部室に集まっているだけのところもある。森：運動系はどこもしっかりやっていると思うけど、女子が最近増えたから女子の部も増えました。男子の部は人数

この街と生きていく

諏訪信用金庫

理事長 宮坂久臣 (49回)

本店 長野県岡谷市郷田2丁目1番8号
〒394-8611 電話 (0266) 23-4567 (代表)



が多くて、活動が活発だからすごく強い。

〔村上〕：そのような活動を自主的、自治的にやっていくという気風は続いているんですかね？

山下：僕はバドミントン部です。顧問の先生もバドミントン部だったそうで、当時は先生もあまり来なくて生徒たちでやっていて強かったそうですが、今は何でもかんでも先生がやってくれて、自分たちでやろうというのが全然ない。みんながそうだから、僕一人だけ自分たちで、と意気込む気もないですね。

小泉：何かが起こった時に僕らでは責任がとれないから、ある程度のことまでは目を通してもらっていいが、それ以上は関与してほしくないと思います。

平出：今の清陵の先生は、生徒のことをわかってない。教師が介入してきて自治が崩れるのか、自治が崩れて教師が介入してくるのか、どっちかといったら、教師が介入してきて自治が崩壊している状態だと思います。できるだけ教師の手を入れさせない学友会を作りたいという旗を掲げて、

副会長選に出たら落選しちゃったんですけど（笑）……それが今の清陵生なのかなと、ちょっと悲しかった。

〔村上〕：ぜひその気持ちを持ち続けてください。

〔大森〕：でも、清陵の先生方に占める OB の割合、わりと高いでしょ？それでもなおかつ理解してもらえないことがあるということなんですね。うーん。

地方会

〔村上〕：地方会はどうですか。

山下：昔の地方会がどうか知らないんですが、あまりいいイメージではない。地方会独自の活動というの、たいしたことがない。形式化されたものでさえも忘れられているんじゃないかなと思います。

森：私の地方会へのイメージは「男の世界」（笑）。女子が増えたにもかかわらず、参加？させてくれないのが納得いきません。

「清陵から夢を育み、開花させよう」のエール。

受験勉強と清陵

〔村上〕：日頃いちばん時間をさいている授業面ではいかがでしょう。授業中の風景は？

小口：以前はやりたいことをやらせてもらっていた気がするけれど、今は、あれをやれ、これをやれと押しつけられている気がします。本当に自分がやりたい勉強ができない。

平出：3年生に私立理系コースがない。だから、僕は完全に私立理系と決めているのに、受験に不要な古典、現文、社会をやらなくてはいけないというのがおかしいと思います。好きな教科をやらせてほしい。

飯島：私も、教師がおしつけて、自分の好きなことができなったり、道を決められたりしている部分があると思う。ありのままの自分じゃなくて作られた自分というか。選択の自由を認めてほしいですね。

森：その科目が受験に必要ななくて授業を受けている人は、いてもいいから、邪魔しないでほしい。

〔村上〕：自分の受験に必要な科目だけをやるのは予備校と同じになるんじゃないのかな。

小泉：進学校が予備校化しているというのは意味が違うと



思う。予備校化というのは、やりたい勉強をやる場所というより、勉強だけをやる場所という意味。清陵は違う。

〔村上〕：私の思うに、受験に結びつくだけの授業、それが予備校化ではないか。

森：勉強するという点では同じなので、学校と予備校は同じでいいと思う。勉強する面は同じで、学校にあって予備校にないものがあるということでは学校がいい。

最先端技術にはロマンがある

理想を追究したツイストノイズカットトランス
ノイズ障害防止の切札で、近未来に先駆けるトランスです



高度情報化社会のアキレス腱＝不要電磁波・ノイズ障害の防止に尽くす

株式
会社

電研精機研究所

取締役会長 矢ヶ崎昭彦 (47回)



本社・工場／〒203-0042 東京都久留米市八幡町1-4-21
TEL: (0424) 73-3745 (代) FAX: (0424) 74-0613
大阪営業所／〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-7-5 マッセ四ツ橋ビル5号館
TEL: (06) 538-1118 FAX: (06) 538-2777
URL = <http://www.denkenseiki.co.jp>

〔大森〕：高校とは基礎的な学力を養う大きいものがあるところだと思います。理系に行くから古典を読めなくていいかという答えは、実社会に出てすぐわかる……いくら理系に行っても古典読めなくては社会に通用しない。じゃあ文系の人は数学のことわからなくていいかという、社会的発想ができるためには必ず必要。

小泉：確かにそれもわかります。ただ、授業態度とかテストの点なんていうのは、力があるかないかより、勉強をしたかしないかであって、その観点で優劣を決められているのはおかしいと思う。

〔武居〕：私は清陵時代、生物の教師でしたが、清陵の生活は決して大学に行くためだけのものではないと思いますね。浪人したりするとよけいにその価値がわかるようです。

将来の大きな夢

〔村上〕：みなさんが求めているものと現在の清陵の教育課程が合わないという面があるということはわかりました。次に、将来の展望、夢を語っていただきたいと思います。

森：私は大学に行ってバイオを学びたい。食糧難などの問題がバイオの活用によって解決できるのでないかと思います。

小泉：法学部を目指していますが、果たしてこれでいいのかなと。勉強するために夢を決めていこうと思ったんだけど、時々釈然としない時があります。

平出：僕は電子工学を大学で学んで、ソニーに就職したいと思っています。今、IT革命と言われていますが、その局面においてソニーは革命的な会社だと思うから、そこでもがんばって日本を引っ張っていきたい。

小口：世界のいろいろな人たちの考え方に興味があるので、世界中に行ってみたい。特に先進国よりも途上国に興味を持っています。

上島：私は清陵に来て、夢を持っていないことがすごく恥ずかしかったんです。やりたいことはあるけれど、いろいろな方向を向いていてまとまらないし、本当に自分がやりたいことに対して不安だったり無理だと思ったり……。音楽が好きだからそういう道に行けたらと思います。自分の夢を胸を張って語れる人がうらやましい。

船橋：小さい時から看護婦になりたいと思っていたんですが、ここに来て、いろんな道が見えてきて、やりたいことがいっぱい出てきています。今は部活が楽しくて、県大会を目指すのがいちばん近い目標、というか小さな夢。

〔村上〕：なるほど、皆さんの夢を聞かせていただき、ありがとうございました。清陵高校という土壌でその夢を大きく育み、開花させることを応援したい気持ちです。

〔伊藤〕：今日は、皆さんとともに大変有意義な時間が持てましたことに感謝いたします。



終ってから「鐸」の前で

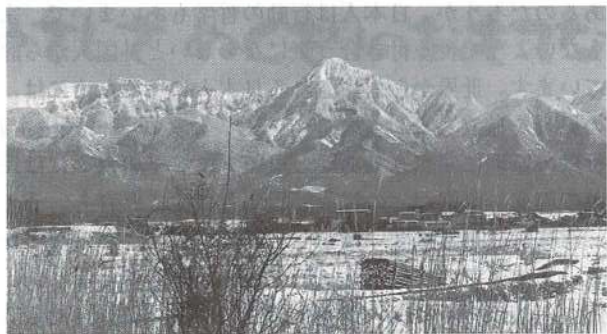


刺身 仙岳

シブシブ
ふぐ料理
天ぶら

代表 小口 達夫
小口 慶一郎 (84回)
小野 勝子 (87回)

諏訪市湖岸通り 5-17-6
TEL 0266 (58) 3515



ハケ岳 (撮影 矢嶋壽雄 48回)

ひかり味噌株式会社

林 善八郎(58回) 小平 廉(58回) 林 博優(64回) 林 善博(81回)

少年の頃の質素な食事に、おいしい味噌汁があった。
お袋の温もりがあった。故郷の味を伝えたい。
贈る人の心の温かさを伝えたい。

大寒仕込み天然味噌「産直 雅」

500g×6 ●お届価格 ¥3,670

●申し込み方法／ひかり味噌株式会社「産直の係り」まで
①ハガキ／〒393-0084 長野県諏訪郡下諏訪町栄町 5238
②TEL.0266-28-5188 / FAX.0266-27-8224
●お支払い方法／同封の振替用紙でお支払い下さい。



新しい時代にあっても 質実剛健、文武両道を

同窓会長 宮 坂 久 臣

今年の冬、諏訪の地域は記録的な大雪に見舞われました。いまは、まわりの山々の新緑が私たちの気持ちを和らげてくれています。

同窓生の皆さんにおかれましては、ますます、ご清栄のことと拝察いたしますとともに、日ごろ、同窓会活動にご協力をいただいておりますことにつきまして、心からお礼申し上げます。

さて、21 世紀最初の年、母校の新学期も順調にスタートしました。学校の説明では、今年の新入生は男性 129 人、女性 114 人ということで、男女が同数に近い状態になっています。そして全校では、男性 468 人、女性 344 人となっております。昭和 25 年から実施の母校の男女共学も、その実績を着実にあげているといえます。

私も、同窓会長に就任以来、毎年の入学と卒業の式に出席しておりますが、昔のような全校生徒が男性だけのころと比べるまでもなく、やはり全体におとなしいという印象はぬぐえません。

それはそれなりの良さがありますし、時代の流れにそったものとしての受けとめもできますが、そうしたなかにあっても、旧制の諏訪中学校から受け継がれてきた質実剛健、文武両道の校風は保持してほしい、と思うのであります。

このことは、同窓会の各支部総会などで、年代を問わず多数の同窓生から異口同音に言われます。なかでも東京支部の総会では、「質実剛健や文武両道に徹することは大学進学だけでなく、それぞれの長い人生に対して必ずプラスをもたらしてくれるものだ」と熱っぽく話すかたもありました。

第二校歌の九番に『再び槌をふりあげて、いくその魔をば砕けかし、夫れ質実をたてにして、やも勤儉をよこにして、織りも出でなむ校風を』とあります。同窓生の皆さんと在校生たちが一緒に歌う機会があれば、さぞ楽しいだろうと想像しています。

何はともあれ、文武両道。在校生たちに勉強とともにクラブ活動にも大いに頑張ってもらうために、同窓会としては『後援会基金』の一層の拡充を図りたい、と考えています。どうか、同窓生の皆さんの一人でも多くの加入をお願い申し上げる次第です。

今年も去年と同じ夏場の総会です。年々、女性の同窓生の姿も増えておりますが、もっと大勢のかたに出席いただいて、男女コーラスで『日本一長い校歌』を高らかに歌うことができれば最高です。

同窓生の皆さん、今年も総会でお会いしましょう。



第 104 回生におくる 餞の言葉より

学校長 窪 田 孝 美

ある有名大学のキャンパスが「夢の島」化しているということ、17 歳の暴走する若者たち、続発する医療ミスなど少し前の日本では考えられないことが起きるようになった。どこに原因があるのか。この混迷から抜け出すことができるのか。悩むことの多い昨今である。エントロピーの法則からすれば当然であっても、エントロピーの増加を少しでもゆるやかにする人間の行動や活動が求められている。自然を人間の支配下におき、人類の幸せの最終的解決を生産力の無限の発展に求める点で資本主義もマルクス主義も別種であっても地球的規模で考えると別の類の思想とは言えそうにありません。

無限の発展が出来ないとすると、世界が窮屈になることを避けたい。するとそこに、配分や優先順位の問題が生じてきます。この解決には「万人に当事者の地位を与える」という民主主義の原則が、生き生きと意味を持ててきます。

諸君は社会科の授業で民主主義の歴史や理念を学んで、卒業するわけですがどうでしょうか。今理念と申しましたが、民主主義の理念は「自由・平等な複数の個人による自発的な秩序でありますから、自分で自分を治める、自治ということになります。治める者と治められる者の同一である」ということですが、諸君は自治を標榜する本校の学友会活動とおし「自治」が身について卒業できたとなると、自らの行動の原理を民主主義に求めることのできるということで、素晴らしいことでもあります。

しかしながら、我が国の民主主義について丸山真男の『日本の思想』と言う本で「戦後数年で、もう分かっているよ」という雰囲気であしらわれてしまうと指摘されて以来、最近において中坊公平氏も「戦後の民主主義を人々が自分の手で実質化できなかった欠陥があり、客観民主主義から脱却しなければならない」と述べております。これが日本の民主主義の現状です。

アメリカの行動の原理は「自由と人権を脅かすものには、銃をとって戦う」というものであるそうだが、日本人には何があるのだろうか。日本人は行動の哲学もあいまいで、宗教心もないようで長く付き合う気にならないと外国人から評されています。世界から信頼される日本人になるためには、行動の原理を確立しなければなりません。私は「民主主義」を行動の原理にすべきであると思います。そのためには民主主義の理念・原則がどのような歴史の中で生まれ育ち、その意義・意味付けを常に問いなおし、議論していかなければならないと思います。この作業を常に繰り返し続けることなしに、客観民主主義から脱し真の民主主義を我が国で機能させることはむずかしいと思います。特に、ベンサムから始まる民主主義を日本人の行動の原則とすることで、21 世紀も「持続的に発展する社会」が可能と、信じております。

平成12年度 定期総会報告



宮坂同窓会長挨拶

昨年の定期総会は67回生が幹事となり、7月1日(土)岡谷のジョイントプラザマリオにて開催された。曜日、場所の変更があり役員の皆さんにご心配をおかけしましたが、天気も味方して300人を越す会員が参加されました。

総会議事は松沢宏昭(原支部長)議長により、1号から5号議案までスムーズに進行し、その後、退任された事務局の小口祐一先生と木下芳英先生のご苦勞に対し感謝状と記念品



三浦さん(67回生)の歌と語り



次回当番幹事による校歌

が贈呈されました。本当にありがとうございました。

記念講演は、67回生の三浦久君の歌と語りで、最後は全員で「ふるさと」を歌い、郷愁に駆られながら懇親会場へ移りました。

懇親会は、地酒と地ビールを味わい最後は日本一長い校歌を声高らかに歌い散会しました。

皆様の絶大なお協力に感謝申し上げます。今年の総会でまたお会いしましょう。

2000年(平成12年) 7月26日(水) 第3版郵便物認可 図説 市民新聞



総会に300人 初めて岡谷で

諏訪清陵

諏訪清陵高等学校同窓会 は、一日、岡谷市のジョイントプラザ・マリオで平成十二年度総会および記念講演、懇親会を行いました。会場を諏訪市以外に設定した初の試みでしたが、約三百人が出席、盛況となりました。

校歌をアレクシス・ジエリが物故会員をしのんで黙とう。宮坂久臣同窓会長、窪田孝美学校長のあいさつに続き、十一年度会務、会計報告、承認

議事後、小口祐一さん(四十七回生)、木下芳英さん(四十八回生)に対し、同校創立八十周年、百周年記念事業などの成功は、同氏の尽力の賜物(たまもの)と感謝状と記念品を贈呈しました。

記念講演では信州豊南短期大学教授、フクロシンガの三浦久さん(六十七回生)が「ふるさと」を歌い、三浦の豊かさは、ハッピーになれる、多くの演奏を交えて話

母校支援活動などを盛り込んだ十二年度事業計画と予算を承認しました。役員改選では宮坂会長以下、副会長、監事を再選。

岡谷市民新聞の記事

懇親会では十数人の地元酒蔵の銘酒、ワインや地ビールなど豊富な飲み物を味わいながら歓談。最後に「日本一長い」と言われる校歌を歌い、来年度総会での再会を約し解散しました。

やさしさをぬくもりのおもてなし

政府登録国際観光旅館



代表取締役社長 山崎 壯一(51回)
取締役社長室長 山崎 滯子(56回)
取締役 山崎 俊一(80回)

〒392-0027 諏訪市湖岸通り3-3-10 TEL0266(58)8000



21世紀 私達は残します
物と自然と豊かな心

クリーン&ファインテクノロジー

株式会社 ミズズ工業

精密事業・電子事業・医療機器事業

代表取締役会長 山崎 壯一(51回生)

代表取締役社長 山崎 泰三(83回生)

本社 諏訪市四賀3090 TEL0266-52-6611(代)

平成 12 年度 会 務 報 告

平成 12 年

- ・4.5 諏訪清陵高等学校第 106 回生入学式
10:00 母校小体育館 新入生 286 名 (内, 女子 128 名) 宮坂会長祝辞
- ・4.10 定期総会および会報編集準備会
18:30 ジョイントプラザマリオ
- ・4.19 物故会員・道志杜先輩慰霊法要
11:00 地藏寺 会長ほか 20 名出席
- ・4.22 上伊那支部総会
15:00 たつのパークホテル
- ・5.25 財団諏訪清陵会・同窓会会計監査
16:00 清陵会館
- ・6.3 財団諏訪清陵会理事会
12:00 母校応接室
同窓会常任幹事会
14:00 清陵会館
幹事会
15:30 清陵会館 (平成 12 年度定期総会提出議案の審議)
懇親会
17:00 清陵会館
- ・6.6 1 年生により『清陵同窓会報』第 26 号 (編集担当 67 回生) の発送 (約 15,500 部)
- ・6.17 原支部総会
16:00 原村中央公民館・遊膳長田
- ・6.19 定期総会準備会
18:00 ジョイントプラザマリオ
- ・7.1 定期総会
13:30 ジョイントプラザマリオ

- 平成 11 年度会務報告・一般・特別・クラブ後援会会計決算報告および 12 年度事業計画・予算案の承認
役員改選 (会長以下全員再選)
創立 80 周年記念事業以来、永年に亘り同窓会に尽力された小口祐一 (47 回)・木下芳英 (48 回) 両氏に感謝状と記念品を贈呈
記念講演: 三浦久 (67 回) 氏 信州豊南女子短大教授・フォークシンガー「メッセージ——今伝えておきたいことがある」
懇親会 (当番幹事 67 回, 次期幹事 68 回, サブ幹事 74・84 回)
- ・7.24 総会および会報編集担当幹事 (67 回) 反省会
18:30 諏訪湖インあるが
- ・9.23 総会および会報編集担当幹事引き継ぎ会 (67 回→68 回)
18:30 紅蘭
- ・10.20 東京支部 (東京清陵会) 総会
16:00 アルカディア市ヶ谷 (私学会館) 寺島敏郎氏支部長退任 林尚孝 (52 回) 氏 就任
- ・10.28 松本支部総会
16:00 松本信州会館
- ・11.2 「渡部清の世界展」(56 回)
↳ 諏訪丸光 主催: 諏訪丸光
11.6 後援: 上諏訪中学校同窓会・諏訪清陵高校同窓会
- ・10.25 母校湖周マラソン
OB・OG 約 13 名参加
- ・11.17 諏訪支部総会
18:00 諏訪シティホテル成田屋 宮坂祐次氏支部長退任 茅野嘉

利 (57 回) 氏就任

平成 13 年

- ・1.15 総会および会報準備会
18:00 清陵会館
- ・1.28 関西支部総会
11:00 阪神グリーンルーム
- ・2.3 東海支部総会
16:00 名古屋通信会館
- ・2.23 北信支部総会
18:00 長野バスターミナル会館
会報編集集議
18:00 清陵会館
- ・2.24 茅野支部総会
15:00 岡島ロイヤル会館
- ・3.1 同窓会会則改正検討会
17:00 諏訪湖インあるが
- ・3.8 諏訪清陵高等学校第 104 回生卒業式
10:00 母校体育館 卒業生 276 名 (内, 女子 110 名) 宮坂会長祝辞
同窓会から卒業記念品として印鑑セットを贈呈
- ・3.14 下諏訪支部総会
18:00 ぎん月
- ・3.17 母校校友会役員等と会報編集委員会との座談会
13:30 清陵会館
- ・3.23 母校転退職職員 (13 名) 送別会
17:30 浜の湯 有賀副会長出席
- ・3.26 岡谷支部総会
18:30 ホテル岡谷
- ・3.27 富士見支部総会
18:30 油屋旅館 細川昭氏支部長退任五味昭二 (46 回) 氏就任

諏訪清陵高校 OB・OG「諏訪湖一周マラソン」のご案内

本年も恒例の湖周マラソンを下記により、母校の諸君に加えてもらい実施致します。多数の皆さんの参加と応援を期待しご案内とします。

1. 日 時 10 月 24 日 (水) 女子 8 時 40 分、男子 9 時
2. コース (予定) スタート・ゴール 湖畔石彫公園 約 18Km
3. 受 付 湖畔石彫公園のスタート・ゴール地点 午前 7 時 30 分よりゼッケン受取り後スタート地点へ。終了後懇親会。
4. 参加費 3000 円
5. その他 健康診断もお忘れなく。雨天の場合受付時に判断。

清陵湖周マラソン OB 会

会 長 井上彦次 (42 回) 事務局長 牛山 孝 (59 回)
問合先 原 英充 (65 回) Tel 0266-58-3547
会 計 唐沢千明 (76 回)

平成 8 年よりコースが変わりました。諏訪湖周辺のジョギングロードを走る平坦な走りやすいコースです (牛マサ坂を通ります)。

株式会社 DAVA ダイヤ精機製作所

本社工場 岡谷市小井川 7978
TEL (0266) 27-7733 (代)
営業所 東京都杉並区善福寺 3-10-2
TEL (03) 3399-0685 (代)

精密機器製造
工作機械用ツール

取締役会長 小口 成人 (44 回)
常務取締役 小口 裕 司 (79 回)
取締役 武田 吉 清 (61 回)

各種自動車钣金塗装

車の钣金塗装は専門家の

車体整備士のいる当工場で

推奨工場

共立板金

宇治 稔 (68 回)

〒392-0017 諏訪市城南 2 丁目 2425-9

TEL 0266-53-6820

FAX 0266-58-6825

メールアドレス kyoritu@mxll.freecom.ne.jp

中国料理

紅 蘭

矢 沢 昭 三 (68 回)

矢 沢 亮 作 (97 回)

矢 沢 祐 作 (98 回)

諏訪市湖岸通り 5-17-7

TEL 0266 (58) 1443

平成 12 年度 同窓会一般会計決算報告

平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日

収入総額	13,537,145 円
支出総額	7,920,337 円
差引残高	5,616,808 円 (平成 13 年度へ繰越)

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	増減(▼)額	備 考
前年度繰越金	5,969,976	5,969,976	0	
入 会 金	1,430,000	1,430,000	0	5000 円× 286 人
終 身 会 費	6,220,000	5,909,790	▼ 310,210	20,000 円× 286 人 未納会員 19 人分
基本財産収入	67,000	72,344	5,344	大口定期預金利息
繰 入 金	0	0	0	
雑 収 入	250,000	155,035	▼ 94,965	普通預金利息、名簿・ CD・100 年史等売上金
合 計	13,936,976	13,537,145	▼ 399,831	

平成 13 年度 同窓会一般会計予算案

収入総額	12,401,808 円
支出総額	12,401,808 円
差引残額	0 円

収入の部

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増減(▼)額	備 考
前年度繰越金	5,616,808	5,969,976	▼ 353,168	
入 会 金	1,215,000	1,430,000	▼ 215,000	5000 円× 243 人
終 身 会 費	5,360,000	6,220,000	▼ 860,000	20,000 円× 243 人 未納会員 50 人分
基本財産収入	60,000	67,000	▼ 7,000	大口定期預金利息
繰 入 金	0	0	0	
雑 収 入	150,000	250,000	▼ 100,000	普通預金利息、名簿・ CD 等売上金
合 計	12,401,808	13,936,976	▼ 1,535,168	

支出の部

科 目	予算額	決算額	増減(▲)額	備 考
会 議 費	300,000	210,708	89,292	常任幹事会・幹事会他
総 費 会	400,000	345,501	54,499	定期総会費
旅 費	650,000	344,865	305,135	役員出張旅費、書記通勤費
人 件 費	500,000	480,000	20,000	書記給与
需 要 費	300,000	218,899	81,101	リース料、新聞代、消耗品費他
役 務 費	500,000	235,420	264,580	電話料、郵送料、FAX 料
慶 弔 費	1,000,000	997,205	2,795	支部総会祝儀、教職員饗別、 弔電他
記 念 品 費	220,000	193,200	26,800	卒業記念品 (印鑑) 代
繰 出 金	4,400,000	4,400,000	0	会報 (180 万)、清陵会 (250 万)、 会館 (10 万)
基金繰出金	0	0	0	
備 品 費	300,000	494,539	▲ 194,539	コピー機、CATV 引込工事費
雑 費	0	0	0	
予 備 費	5,366,976	0	5,366,976	
合 計	13,936,976	7,920,337	6,016,639	

支出の部

科 目	予算額	前年度予算額	増減(▲)額	備 考
会 議 費	300,000	300,000	0	常任幹事会・幹事会他
総 費 会	400,000	400,000	0	定期総会費 (会費 5,000 円徴収)
旅 費	600,000	650,000	50,000	役員出張旅費、書記通勤費
人 件 費	480,000	500,000	20,000	書記給与
需 要 費	300,000	300,000	0	リース料、新聞代、消耗品費等
備 品 費	300,000	300,000	0	インターネット関係
役 務 費	500,000	500,000	0	電話料、郵送料、FAX 料等
慶 弔 費	950,000	1,000,000	50,000	支部総会祝儀、弔電、 職員生徒饗別他
記 念 品 費	210,000	220,000	10,000	卒業記念品 (印鑑) 代
繰 出 金	4,350,000	4,400,000	50,000	会報 (180 万)、清陵会 (250 万)、 会館 (5 万)
基金繰出金	0	0	0	
雑 費	0	0	0	
予 備 費	4,011,808	5,366,976	1,355,168	
合 計	12,401,808	13,936,976	1,535,168	

諏訪清陵高校同窓会「基本財産」目録

基本財産 63,000,000 円

(内訳) 大口定期預金	諏訪信用金庫	43,000,000 円
	八十二銀行	20,000,000 円

平成 12 年度 「清陵会館」維持会計決算報告
(平成 12 年 4 月 1 日～13 年 3 月 31 日)

収 入 額	597,283 円 (繰越金、繰入金、利息)
支 出 額	7,560 円 (時計修理、電池代)
差引残高	589,723 円 (平成 13 年度へ繰越)

平成 12 年度 同窓会報特別会計決算報告

(平成 12 年 4 月 1 日～13 年 3 月 31 日)

収 入 額	2,625,103 円 (繰越金、一般会計よりの繰入金、広告収入等)
支 出 額	2,408,652 円 (会報 26 号 16,600 部印刷費、郵送料等)
収支残高	216,451 円 (平成 13 年度へ繰り越し)

代表取締役
新村 良雄 (四九回)
新村 隆 (八五回)

下諏訪町四ツ角
☎ 〇二六六二七七八五〇五

不二屋もなみ

技術・夢・《三協精機》

世界一のオルゴールメーカー《三協精機》。
その最先端技術が、夢を形にした。

時代を超えて甦る“人間の音”が
技術の粋による“心の音”が
感動と安らぎの世界へ誘います。

オルフェウス
80 弁ディスクオルゴール ORPHEUS —
Traditional Style 801 【トラディショナル・タイプ】
Modern Style 【モダン・タイプ】

三協精機
株式会社三協精機製作所

本社下諏訪工場 〒393-8511 長野県諏訪郡下諏訪町 5329
TEL:0266-27-3111 (代) FAX:0266-28-5833
東京本社 〒105-8633 東京都港区新橋 1-17-2
TEL:03-3502-3211 (代) FAX:03-3502-6228

諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会会計報告

平成 9 年に PTA・同窓会・学友会の三者により結成されました「清陵高校クラブ活動後援会」も、発足以来 4 年が経過しました。後輩生徒諸君は、この援助資金により昨年にも増して多くの大会等に参加し、清陵生活を盛り豊かなものにすべく励んできております。平成 12 年度は、114 の大会等に延べ 1,600 人近くの生徒が参加しましたが、主な活動成果については「学校だより」頁をご覧ください。参考までに各クラブで出場あるいは参加した予選会・大会・発表会などの回数は次のようです。

陸上競技 24、剣道 6、箏球 5、サッカー 7、柔道 3、端艇 7、野球 4、排球 8、バドミントン 5、水泳 5、庭球 8、軟式庭球 8、スケート 5、卓球 7、古典ギター 3、音楽 4、英語 1、将棋 2、書道 1、演劇 1 (計) 114
なお、114 の大会等で諏訪郡内は 28、県内は 76、県外は 10 でした。

この「クラブ活動後援会」は、平成 9 年から 5 年分の会費として 1 万円 (年 2000 円) をまとめて拠出願ってまいりました。平成 13 年度はその 5 年分の最終年度となりますが、これで終了ではなく今後とも継続していきますので、とりあえず未入会の方々には昨年に引き続き「郵便振替用紙」を同封致しましたので、何卒入会して下さいますようお願い致します。

昨年度中にご送金 (入会) 下さった方々のお名前を掲載致し、領収証代りとさせていただきます (入会者名簿は会報 24～26 号に続いて 4 回目です。)

平成 12 年度 クラブ活動後援会 (学校) 会計収支決算書

収入総額 9,406,667 円
支出総額 7,608,277 円
差引残額 1,798,390 円

収入の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	収入済額	比較増減
繰 入 金	6,670,000	* 6,670,000	0
県等補助金	1,251,100	657,800	△ 593,300
雑 収 入	1,095	1,062	△ 33
繰 越 金	2,077,805	2,077,805	0
合 計	10,000,000	9,406,667	△ 593,333

* PTA 357 万円 同窓会 216 万円 学友会 94 万円

支出の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	支出済額	比較増減
生徒遠征費	7,000,000	5,362,257	1,637,743
大会参加費	1,100,000	1,100,365	635
登 録 費	800,000	735,730	64,270
施設使用料	500,000	409,925	90,075
事 務 費	30,000	0	30,000
予 備 費	570,000	0	569,000
合 計	10,000,000	7,608,277	2,391,723

諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会会計決算書 (案)

収入総額 4,138,083 円
支出総額 2,198,220 円
差引残額 1,939,863 円 (平成 13 年度へ繰越)

収入の部

収出の部

(単位: 円)

科 目	予 算 額	備 考	科 目	支出済額	備 考
繰越金	3,723,858	前年度より	拠 出 金	2,160,000	学校後援会へ
会 費	408,880	延べ 41 名	需 要 費	38,220	振替用紙印刷代
雑 収 入	5,345	預金利息			
合 計	4,138,083		合 計	2,198,220	

諏訪清陵高校クラブ活動同窓会後援会基金 (定期預金)

種 類	預 入 先	金 額	利 率	期 間	満 期 日
期日指定定期 単利	諏訪信用金庫	3,000,000	0.080%	364 日	平成 14.3.29
〃	〃	1,400,000	〃	〃	〃
〃	〃	650,000	〃	〃	〃
	合 計	5,050,000			

クラブ後援会学年別会員数 H.13.3.現在 会員数 1,703 名

回生	人数	回生	人数	回生	人数	回生	人数	回生	人数	回生	人数
18	1	35	21	49	58	65	38	79	11	93	11
19	1	36	19	50	95	66	28	80	12	94	7
21	1	37	18	51	33	67	22	81	9	95	18
23	1	38	18	52	48	68	21	82	9	96	14
25	1	39	22	55		69	33	83	15	97	21
26	1	40	24	56	53	70	26	84	21	98	16
27	1	41	22	57	40	71	22	85	7	99	17
28	7	42	41	58	50	72	22	86	14	100	29
29	3	43	11	59	49	73	12	87	11	101	16
30	8	44	33	60	79	74	13	88	13	102	20
31	11	45	25	61	35	75	20	89	6		
32	8	46	39	62	23	76	14	90	7		
33	12	47	72	63	26	77	15	91	10		
34	7	48	27	64	38	78	9	92	9		

デジタルイメージング機器のCHINON

目に見える形、色、さらには感性までもデジタル情報に置き換える高い技術。ISO-9002 認定という世界に認められた確かな品質。21 世紀に向けて急速に進む高度情報化、マルチメディア化に、私たちは高精度なデジタルイメージング機器で応えています。



— 感性を情報に。 —

チノン株式会社

〒391-0293 長野県茅野市中大塩 23-11
TEL. 0266-82-2000 FAX. 0266-82-2010 <http://www.chinon.co.jp/>

クラブ後援会 平成12年度入会者

敬称省略させていただきました。

51回	小松 良樹	立石 廣男	五味十四昭	堀内 進	62回	上原 俊春	76回	川上 孝
60回	矢崎清太郎	齊藤 哲至	小口 征男	宮坂 博巳	68回	今井長八郎	77回	渋谷 章二
	加室 昂	守屋 武	給田 英哉	小平 宏		長尾 英俊	86回	伊藤 久人
	小口 一老	高木 祥勝	高砂 智之	山田 侑平	69回	山崎 卓		土屋 治彦
	五味 重則	長谷川修平	小川 浩史	平林 國男	71回	小林 紀雄	97回	新村 好
	小尾 武人	原田 研一	笹岡 拓雄	牛尼 泰輔	72回	山田 博雄	102回	橋爪誠二郎
	菊池 敏一	五味 二光	藤森 夏実	轟 道彦	73回	小松 安昭		(41人)

寄稿

万里の長城で校歌を歌うの記

笠原文武・藤森弘・藤森和弘(60回)

平成11年同窓会報に睦和会(60回生)の大懇親会と中国旅行の予定について書いたが、以下は昨年5月24日成田を出発した総勢36名(内夫人10名)の旅行報告である。

上海まで飛び、そこから二手にわかれた。11名は上海市内観光後空路屯溪へ。翌朝は朝から雨模様、宋代の古い街並みを残す『老街』の見学だが足は重い。黄山へのロープウェイ駅では寒さも一段と増し、降りてくる客の顔は青ざめている。全員雨合羽に身を包みいざ出発。宿の黄山云海飯店までは全くの五里霧中で道路沿いの松の木位が判るのみ。びしょ濡れでやっと到着。奇松・怪石・雲海の『黄山三奇』を期待の我々には無情な暴風雨。翌朝もまだ雨。『雲海からの日の出』観光スポットも濃霧の中、せめてもと小止みの瞬撮も出来上がりは霧ヶ峰のそれと間違えられ笑われる始末。恨みを残し北京へ。

一方25名は上海から西安への予定便が飛ばず夕方まで上海バス観光。西安で餃子の夕食を終え宿舎の西安凱悦飯店到着は11時、成田での朝食が6時だったので長い一日となった。翌日は西安市郊外の楊貴妃の華清池・始皇帝の兵馬俑・空海の青龍寺・玄奘三蔵の大雁塔・貴重な石碑群の碑林と目一杯見学し、ディナーは華麗な唐歌舞を鑑賞しながら。翌朝は北京へ飛び10時過ぎ着。故宮博物館を見学中に黄山グループと合流、夕食は全員で北京ダックを楽しんだ。夜からの雨に心配したが翌日の万里の長城(八達嶺)は晴。何事ならんと観光客が見守る中、頂上で校歌を歌い終わり、荷物の番をお願いしたガイドの夏さんの所へ行くと『理想の花が咲きましたね』とにっこり。彼は渡しておいた歌詞を終始目で追っていて、意味も理解していたのだ。全員では最後の北京での夜は四川料理で盛り上がる。酒間、次の外国旅行はドイツのザクセンだとの話になり、帰国後平成17年春実施で話は



進んでいる。

5日目の朝、帰国する29名と別れて7名が曲阜・泰山へ。まず山東省の省都済南へ飛び市内の千佛山等名所を見学。翌朝バスで歴史的な文化都市曲阜へ、街全体が落ち着いた雰囲気、儒家孔子の故郷に相応しい、孔廟・孔府・孔林の各世界遺産はさすが歴史の古い中国。帰国前の最後のメインは中国第一の名山泰山行き、玉皇頂にて睦和会の記帳をし護身符を賜り弥栄を祈願した。ここでの南天門・岱廟は各世界遺産。朝は小雨でまたかと思うも玉皇頂では雲も切れ快晴となり大満足。『雨のち晴』了。

今後の睦和会(60回生)予定

- 13.7/20～22 出雲、山陰旅行(諏訪の有志、他希望者募集中)
- 14.5/18～19 睦和会総会(蓼科高原 ホテル 滝の湯)
- 17.4～5月頃 ドイツのザクセン地方(校歌の旅)

オリジナル宝飾時計製造販売
宝石・貴金属・販売
工業用ダイヤモンド工具販売

ASPETHA

株式会社 浜 商

専務取締役 浜 邦彦(68回)

諏訪市四賀神戸3035 TEL 0266-52-3768(代)
FAX 0266-58-7835

学年会報・名簿・自分史等自費出版
本づくりはすべておまかせ下さい

ユースビジコム出版

取締役社長 大森 尚人(68回)

ユースビジコム株式会社

〒399-4601 長野県上伊那郡箕輪町中箕輪9514
TEL (0265) 79-1110(代) FAX (0265) 70-1111
http://www3.ocn.ne.jp/~visucom/
Eメール visucom@topaz.ocn.ne.jp

支部活動報告

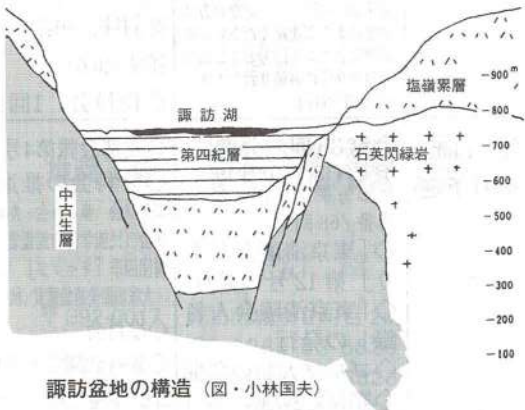
	富士見支部 (262 名)	原支部 (117 名) (村外在住の特別会 員 123 名)	茅野支部	諏訪支部	下諏訪支部	岡谷支部
支部会員名・連絡先	支部長 五味昭二 (46 回) 副支部長 植松幹夫 (50 回) 内藤好昭 (59 回) 事務局 古屋真一 (77 回) 〒 399-0211 諏訪郡富士見町富士見 3202-5 ☎ 0266-62-8580 (古屋真一)	支部長 松沢宏昭 (57 回) 常任幹事 小林千展 (79 回) 〒 391-0105 原村 8119-1 ☎ 0266-79-7921 (原村役場建設係 内 小林千展)	支部長 矢崎斉男 (51 回) 副支部長 永澤俊是 (52 回) 事務局長 牛山 俊 (61 回) 〒 391-0213 茅野市豊平 1784 ☎ 0266-72-6553 (牛山 俊)	支部長 茅野嘉利 (57 回) 副支部長 飯田節夫 (58 回) 関 敦子 (67 回) 会計 矢島 穆 (61 回) 事務局長 藤森和弘 (60 回) 〒 392-0001 諏訪市大和 3-5-5 ☎ 0266-52-6564 (茅野嘉利)	支部長 三井章義 (51 回) 副支部長 有賀公雄 (47 回) 酒井敏夫 (56 回) 小口 剛 (59 回) 会計 野澤彰治郎 (61 回) 〒 393-0015 下諏訪町 3534 ☎ 0266-27-8003 (三井章義)	支部長 山岡正邦 (48 回) 副支部長 山岡利行 (49 回) 鮎沢茂登 (59 回) 宮沢照彦 (60 回) 顧問 山岡利平 (28 回) 林 憲一 (28 回) 宮坂久臣 (49 回) 〒 394-8611 岡谷市郷田 2-1-8 ☎ 0266-23-4567 (諏訪信用金庫内 事務局 花岡 榎好)
平成 12 年度支部総会内容	13年3月27日 油屋旅館 25 名 ◇事業・決算報告 役員の改選 本会より有賀副会 長出席	12年6月17日 原村中央公民館 ◇事業・決算報告 ◇事業・予算計画 ◇講演会「登山と 環境と行政と」 講師/原村長 清 水澄 (57 回)	13年2月24日 岡島ローヤル会館 74 名 ◇事業報告 ◇講演「山城探訪」 講師/山城研究家 宮坂武男 (51 回)	12年11月17日 諏訪シティホテル 成田屋 146 名 ◇事業、会計報告 役員改選 ◇講演会「21 世紀 のまちづくり」 講師/茅野市長 矢崎和広 (68 回)	13年3月14日 ぎん月 42 名 ◇事業報告 ◇役員改選 ◇講演会「諏訪の 音楽事情」武井勇 二 「本部定期総会のお 誘い」河西達雄	13年3月26日 ホテル岡谷 98 名 ◇宮坂同窓会長挨拶 ◇窪田学校長挨拶 ◇議案…事業報告 ・会計報告
平成 12 年度活動内容	◇役員会 ◇清陵富士見会 (東京方面在住者) との交流 ◇逝去会員の弔問	◇役員会 ◇支部八ヶ岳登山 (12 年 9 月 9 日) ◇村外会員に村広 報誌を配布	◇役員会 (平成12年12月15日、 平成13年1月29日)	◇役員会	◇総会 ◇本部定期総会 ◇支部役員会	◇役員会 平成13年3月3日 ・美好・31 名
平成 13 年度活動(事業)計画	◇役員会 ◇定期総会 ◇清陵富士見会と の交流 ◇名簿の整備	◇定期総会 (6 月予定) ◇講演会 ◇名簿の整備 ◇支部八ヶ岳ハイ キング (9 月 8 日 予定)	◇定期総会 ◇講演会 ◇組織の強化	◇定期総会 (13 年 11 月中旬・諏訪シ ティホテル成田屋 予定) ◇講演会 ◇組織の強化	◇役員会 ◇定期総会	◇役員会 (14 年 2 月予定) ◇定期総会 (14 年 3 月予定)

上伊那支部 (286 名)	松本支部 (374 名)	北信支部 (277 名)	東海支部 (142 名)	東京支部 (東京清陵会・ 3,832 名)	関西支部 (288 名)
支部長 石川 進 (52 回) 副支部長 木見尻康彦 (49 回) 常任幹事 伊藤隆一 (58 回) 林 靖 (62 回) 勅使川原明英 (66 回) 大森尚人 (68 回) 田中正幸 (71 回) 橋本実樹 (83 回) 事務局長 加島範久 (70 回) 〒 399-0424 辰野町赤羽 651 ☎ 0266-43-0420 (石川 進)	支部長 守矢武久 (56 回) 常任幹事 林 秀剛 (58 回) 朝倉周一 (59 回) 藤森邦秀 (65 回) 会計監査 千代 務 (58 回) 〒 390-0827 松本市出川 3-5-28 ☎ 0263-26-1039 (守矢武久)	支部長 茅野 實 (52 回) 副支部長 戸田正明 (60 回) 瀬木 潔 (62 回) 〒 380-8682 長野市岡田 178-8 ☎ 026-224-5559 (八十二銀行 営業 企画部内 小松毅)	支部長 小山良治 (42 回) 副支部長 竹村 弘 (44 回) 武井久良 (59 回) 平林国雄 (60 回) 顧問 山田 晶 (40 回) 藤森耕介 (40 回) 飯島宗一 (41 回) 錦見高弘 (42 回) 事務局 小松久夫 (59 回) 〒 486-0838 春日井市弥生町 1-116-403 ☎ 0568-82-0938	会長 林 尚孝 (52 回) 副会長 中澤澄行 (58 回) 藤森宏一 (63 回) 生越万里子 (66 回) 事務局長 金子充宏 (65 回) 事務局次長 小野寿勇 (58 回) 平林千義 (67 回) 会計幹事 河合三彦 (66 回) 〒 120-0005 足立区綾瀬 2-31-7 (株) 小野包装内 ☎ 03-5680-7633 FAX 03-5680-7665 E-mail:tseiryo@ papiacargo.co.jp	支部長 河西計介 (42 回) 副支部長 小倉 裕 (45 回) (事務局長兼務) 小池俊二 (49 回) 藤森千弘 (50 回) 中山 亮 (50 回) 酒井嘉也 (51 回) 杉村 健 (51 回) 今井文人 (52 回) 監事 小林秀春 (47 回) 幹事代表 熊井巻夫 (58 回) 〒 666-0129 川西市緑台 7-3-15 (吉澤啓介 (57 回)) ☎ FAX 0727-93-8668
12年4月22日 たつのパークホテル 36 名 ◇事業・決算報告 ◇事業・予算計画 ◇役員補充 ◇講演「森鷗外と 中村不折」 講師/赤羽貞雄 (35 回)	12年10月28日 信州会館 (松本市大手 2-9-4) 15 名 ◇会務・会計報告 (監査報告) ◇役員改選 ◇講演「生命保険 の現状と課題」 講師/朝倉周一 (59 回)	13年2月23日 (金) 長野バスターミナル 会館 75 名 ◇事業・会計報告	13年2月3日 名古屋通信会館 33 名 ◇事業・会計報告 ◇講演「歴史の記 憶と忘却」 山田 晶氏 (40 回)	12年10月20日 アルカディア市ヶ谷 (千代田区) 292 名 ◇事業・会計報告 ◇役員改選 ◇現役学生の招待 ◇67 回生による即 興劇	13年1月28日 阪神グリーンルーム 59 名 (本部より有賀副 会長、学校より窪田校長 が来会される予定であっ たが、大雪のため欠席) ◇活動・会計報告 ◇活動計画・会計予算 ◇講演会「情報・環境・福 祉先進国-北欧」小池俊二 (49 回・サンリット産業社長 ・大阪商工会議所副会頭) ◇福引き ◇懇親パーティー
◇役員会・支部総 会 ◇支部会報の発行	◇会員名簿の整備 ◇逝去会員への支 部旗の貸出し		◇役員会 ◇総会報告・会員 近況報告の配布	◇「東京清陵会だ より」第11号の発行 ◇第9回ゴルフ大会 ◇第6回女性の集い 関東1都6県にお住まいで東京 清陵会に登録されていない方は 事務局までご連絡ください。東 京清陵会だより12号および総会 通知を9月にお送り致します。 (年会費 600 円)	◇関西支部会報を発 行 ◇分科会活動 ゴルフ会…1回 歩こう会 …1回 特別企画…2回 (元 興寺拝観 (40 名)・智積院 拝観 (46 名)) ◇役員会 1 回開催
◇定期総会 (13年 4月29日・たつの パークホテル・講 演「300年後のや すらぎ」講師/荻 野浩 (57 回)	◇定期総会 (13年 10月下旬・信州会館 ・講演会・懇親会 当番幹事 (68 回) ◇名簿の整備 ◇逝去会員への支 部旗の貸出・弔問	◇定期総会	◇定期総会 (14年 2月第一土曜日予定)	◇第 35 回総会開催 予定 (13 年 10 月 19 日 アルカディア市ヶ谷 当番/68 回生 ◇「東京清陵会だ より」第 12 号の発行 ◇「東京清陵会人名 録」の発行 ◇ゴルフ大会の開催 ◇第7回女性の集いの開催	◇支部会報第4号発行 ◇分科会の推進 ゴルフ会 歩こう会 カルチャー 部会 (民族学博物館鑑賞 (4/7) 劇団四季「キャッツ」 (7/28) ・大塚国際美術館鑑賞 (秋の予定)) ◇役員会 ◇第5回支部総会予定14年1月 27日・阪神グリーンルーム

学年会短信

(☆は定例および既に行われた活動、★は今後に予定される活動)

回	名 称	活動・学年会予定	備 考
34	山紫会	未定	(幹事／矢島敏晴)
36	庚午同級会	未定	(幹事／窪田十寸穂)
37	37 回生 有志同級会	★平成 13 年 9 月予定	37 回生有志同級会を代表細田貴助君により 9 月開催予定なので多数出席されたい。(幹事／土橋道久)
38	38 回生	特になし	小林氏が村上の後任学年幹事として専任され、清陵同窓会本部へ連絡する様伝えましたが、それをしなかったため会議に招集を受けず今日迄過ぎた次第。早速電話連絡をしました。 同窓会には出て頂けると思います。(幹事／小林克己)
39		★今秋 学年会開催 (正午よりぬのはん)	今秋学年会を開催の予定 (当番／岡谷) 前回 (昨春) の出席者は久し振りに増加しました。今回も多数の出席を期待します。(幹事／土橋徹三)
40	述志会	☆平成 13 年 3 月 26 ～ 27 日 学年会開催 (18：00 より甲府市湯村温泉 柳屋)	前記旅館に於いて東京方面、諏訪方面の同級生 15 名が参集。本年は何れも傘寿を迎えるので御祝と健康を祝して開催。一夜を懐旧談に花を咲かせることが出来ました。(幹事／石井 巖)
42	四十二期会	★平成 13 年 10 月か 11 月 学年会開催予定 (18：00 より諏訪市) ☆平成 12 年 10 月 27 日 喜寿記念に清陵高校新校舎などの見学会および学校長との懇談会 (23 名)	年々亡くなる方が増えて来て淋しい時期に入っています。こんな時ですので余計にもお互いを大切にしなければなりません。少々足が痛いとか腰が痛いとかかなりましても、ぜひ、出て来てください。 (幹事／宮沢俊朗)
43		特になし	(幹事／石原俊夫)
45		☆平成 13 年 3 月 10 日 (満月の宵) ☆在京者 学年会開催 (東京日本橋すき焼「日山」にて)	平成 12 年 10 月 27 日・45 回同級生の北沢不二彦氏が、諏訪市公民館市民大学講座の講師として、「地球観測と地球環境保全・人工衛星の光と影」の講演会あり、市内同級生数名参加。あと慰労会をして旧交を温めた。(幹事／小松一弘)
47	清志会	特になし	(幹事／伊東敬一郎)
48	東京白樺会	☆3 月 22 日 学年会開催 (1：00 ～ 4：00 東京エミール) 第 9 回目の東京白樺会約 30 数名出席 ☆毎年 3 月に開催予定。	2001 年→今年こそ落着いた巳→実 (ミ) のりある年にしたいと思う。多数の 48 回生の出席を希望します。(幹事／溝口 勉)
49	一八会	★夏開催予定ですが未定 (6 月 30 日に変更するかも知れません)	本年 6 月 30 日 (土) の定期総会にはぜひ一八会の皆様の出席をお願いします。我々一八会の宮坂同窓会長をもり立てて下さい。東京一八会と打合せの上なるべく早く一八会開催日等の通知をします。多数の会員の参加をお願いします。(幹事／小口貴弘)
50	互励会	★7 月 9 日、10 日 箱根で学年会開催	S25 年卒業。昨年の予定を今年に変更。卒業 50 周年記念旅行を箱根で。古稀を迎えた今。元気で箱根に全員集合!! (幹事／宮坂亮一)
51	清陵五一会	☆5 月 24 日 学年会開催 (AM9：00 ～ PM6：00 諏訪湖カントリークラブ浜の湯)	(幹事／遠藤智義)



諏訪盆地の構造 (図・小林国夫)

諏訪盆地の自然 地質を調査します。

当社は、諏訪盆地の地質を調査し、皆様の暮らしに役立たせていただいています。



株式会社 中部測地研究所

代表取締役 藤 森 徳 雄 (68 回)

〒392-0131 長野県諏訪市湖南田辺 801 番地 1 TEL 0266-58-0304 (代) FAX 0266-58-9515

回	名 称	活動・学年会予定	備 考
55	双樹会 (52回生 55回生)	☆6月7日 AM8:30 諏訪湖CC 4組・大勢の参加をお願いします。	双樹会 東京支部毎月第3月曜日扇ずし(小林誠三) PM18:00 定例会を開催 しております。 諏訪支部毎回7月鳥梅に於てPM19:00 定例会を開催しております。 (幹事/三井光之)
56	かりん会	特になし	短信集を作りたいと思います。ご協力お願いします。 (幹事/神山幸雄)
59	清陵59会	☆6月30日 学年会開催 (6:00 諏訪市内)	(幹事/中島伸一)
60	睦和会 (むつわかい)	★平成14年5月18日～19日 学年会開催 (蓼科高原 ホテル滝の湯) 18日 懇親ゴルフ(昼) 懇親会・宿泊(於:滝の湯) 19日 諏訪観光 Aコース 美術館めぐり Bコース 横岳ロープウェイ 縄文のビーナス(国宝)	今年7月20日～22日には有志で出雲旅行を計画しています。(是非奥様 も一緒に)。希望者はTEL0266-57-4440 藤森までご連絡下さい。 詳細内容をお送りいたします。現在約40名位になりそうです。 (幹事/笠原文武)
61		☆61回生有志によるゴルフコンペ 6月8日(金)、小淵沢カントリークラブ (毎年この時期に行っている。30人くらい出席)	参考までに申し上げます。61回生の希望者により作った株式会社 シックス・ワン 社員27名 代表取締役名取将の例会を毎月新宿 の乃の木で行います。(幹事/土橋 勉)
64	ザザムシ会	特になし	(幹事/小松修治)
67	麓七会	☆本年度休み	昨年の本総会及び東京支部総会の当番幹事として皆様の御協力に対 し、感謝申し上げます。昨年の疲れのため、今年は麓七会お休み。 来年は役員改選年ですので麓七会を開催する予定です。 (幹事/朝比奈一正)
68		☆6月30日 学年会開催 (19:00 ヒュッテ霧ヶ峰)	定期総会終了後当番幹事の慰労を兼ね、霧ヶ峰強清水に於て学年会を 予定。定期総会成功に向け、68回生の協力を期待。(幹事/伊藤八郎)
69	無垢の会	☆6月30日 学年会開催 (18:30 場所未定)	次年度、総会は我が学年です。大勢の方の参加をお願いします。 (幹事/矢澤 博)
74			卒業30年を迎えるにあたり昨年11月「RAKO華乃井」にて恩師を迎え 学年会を開催致しました。今年は卒業30周年、東京にて「東京74期 会」を開催の予定です。諏訪からも全国からも是非お出かけ下さい。 (幹事/湯沢政彦)
85		特になし	(幹事/小池正行)
92		★10月東京清陵会 2次会 (場所未定)	東京清陵会92回生幹事は溝口氏・仲田氏にお願いしました。 折をみて92回生の旧交を温められれば幸いです。(幹事/笠原健一)

処方せん調剤 漢方薬
有限会社 **二葉薬局**

井 上 彦 次 (42回)
井 上 正 一 (70回)
井 上 優 (72回)
井 上 幸 彦 (84回)

〒392-0026 諏訪市大手1-3-2
TEL 0266-52-1242
FAX 0266-52-3460



昭和シェル石油特約店

株式会社 **細川商店**

諏訪市諏訪二丁目10番4号 ☎ 本店(0120)210-613

代表取締役会長 細川 昭 八 (51回)
代表取締役社長 細川 洋 一 (84回)
専務取締役 宮坂 友比古 (67回)
常務取締役 細川 浩 二 (86回)

支 部
だより

茅野支部

茅野支部の平成 12 年度総会は、平成 13 年 2 月 24 日（土）午後 3 時 30 分から茅野駅前の岡島ローヤル会館で開催され、会員 70 人あまりが出席しました。同窓会本部からは、宮坂久臣同窓会長、有賀裕副会長、武居浩明事務局長、学校からは、窪田孝美校長先生が出席されました。総会の開会に先立ち、物故者の方々に、鎮魂曲の奏でる中で黙祷を捧げました。

はじめに、矢崎斉男茅野支部長（51 回生）が本総会に向けて昨年 12 月と本年 1 月に 2 回の支部幹事会を開催し、準備をしてきたことを報告し、当支部総会に多数の会員が出席され盛大に開催されたことに対して感謝の旨のあいさつがありました。つづいて、宮坂久臣同窓会長から各支部が盛況に活動していると共に、同窓会が一層発展している等のあいさつがあり、平成 13 年度の本部の同窓会総会が 6 月 30 日に開催されるので多数出席されるよう案内がありました。窪田校長先生からは、文武両道に活躍している学校の状況が話され、OB に対して母校や後輩の生徒たちの活動の支援、

協力の要請がありました。武居同窓会事務局長からは就任のあいさつを含め会務の状況が話されました。

総会終了後は、同窓生で現岡谷市教育委員長で山城研究家の宮坂武男（51 回生）さんから「山城探訪」と題して講演を聞きました。とくに諏訪地方の山城についての現地踏査による図画により興味深いお話がされました。長野日報に連載されている「山城を歩く、夢の跡」について、直接研究を聞くことができ、身近な山城に一層の認識を深めることができたへん有意義な講演会でありました。懇親会は、有賀裕副会長の乾杯の音頭で始まりました。茅野支部は、昭和 30 年に町村合併したところであるので、それぞれの地域の思い出があり、青春時代や昔話に大いに盛り上がり時の立つのも忘れた一時でありました。また、大きな横幕に書いた、第一、第二校歌を全員で斉唱し、会場は「東に高き八ヶ岳……」「ああ博浪の……」で響きわたりました。

最後に丸茂恵司（50 回生）前支部長の発声で万歳三唱し、来年の支部総会を楽しみに閉会しました。（事務局 牛山俊）

支 部
だより

東京支部（東京清陵会）

支部名を 1993 年から“東京清陵会”としているが、東京支部という実質的な性格は変わらない。東京清陵会という名称に誤解があるようなので、初めにお断りしておきたい。しかし、東京清陵会とする便利さはある。会合の表示で“諏訪清陵高校同窓会東京支部”よりは“東京清陵会”の方が簡潔で分かりやすい。総会時点で、会員数は 3,832 名である。

大きな行事は、総会開催、会報発行、女性の集い、ゴルフ大会などの挙行である。

昨年 10 月 20 日に開かれた第 34 回総会は、67 回生のお世話によりアルカディア市ヶ谷で盛大に挙行され、来賓 5 名

を含め 292 名が参加した。昨年に続き、現役学生 15 名を無料招待し、34 回生から 100 回生までの幅広い年齢層の交歓が行われた。次回からは、毎年十月第三金曜日に総会を挙行する。今年度総会は 10 月 19 日アルカディア市ヶ谷で開催される。

昨年はミレニアムを記念して東京清陵会だより第 11 号はカラー化された。ハワイ・マウナケア山頂の“すばるドーム”建設に従事している宮下暁彦氏（67 回）に守矢早苗さん（67 回）がインターネットで取材した記事が一面を飾った（A 4 版 16 頁）。

3 月 10 日代々木ドコモビル（エンパイアステーツビルに

よく似たビル)で第6回女性の集いが開かれた。参加者は女性会員14名、男性役員4名で例年より参加者が少なくやや寂しかったが、男女比が50%に迫り、やがて逆転するのではないかという母校の話題などについて語り合った。

第9回ゴルフ大会は、昨年9月21日千代田カントリークラブで、26名が参加して行われた。優勝は河合信也氏(63回;グロス79)、ブービー賞は小松昌平氏(43回)であった。

昨年総会で役員交代が行われ、事務局長の交代制が定着しつつある。その弱点を補うために事務局Eメールネットを構築し、情報伝達の即時性と共有制を確保しつつある。

また、現在読む名簿を目指した“東京清陵会人名録”を制作中であり、総会までに発行する予定である(頒価3,000円;含送料)。

(東京清陵会書記局長・金子充宏・65回記)



第6回女性の集い

学年会 だより

清陵賛歌 (卒業30年同学年会)

74回 今井竜五

受付係を引き受けてくれた2人の仲間が心配をする。「30年だぞ。絶対に分からないと思う」と言う。名札を用意したものの、来た人物が誰だかわからないから渡せないという。予定時刻の1時間半前から、それらしき人物たちが現れ始めた。確かにわからない。結局、名札を並べておき自ら選んでもらうことにした。しかし不思議なことに、名札を胸に付けた瞬間に30年前の面影が浮かび上がってくる。「久しぶりだな!」「元気だったか!」「変わったな!」の声が続く。時間の経過と共に「RAKO華乃井」のロビーは他の利用客を全く無視する遠慮のない集団に占領されていく。11月半ばの諏訪の夜はすでに初冬の景色。午後7時からの熱気に包まれる中で30年ぶりの同年会がスタートした。

卒業30年目の同年会については、諏訪地方在住の仲間が72回73回も行ったから、我々も開催しようという軽い気持ちで計画を立て、始めた。幸いにも東京支部の仲間も同様な計画を考え行動を始めていた。しかし案内状の発送後、所在不明等で戻ってくる封筒の山や返信はがきの記述に自分たちの考えの甘さを痛感させられた。消息を追いかける

中で、現在我々の仲間は、責任世代として、仕事や家族のために、全国各地または海外において精一杯頑張っていることがわかった。また、事業の失敗や健康を害し苦しんでいる友もいた。30年という年月は非常な重さをもっている。会えば一瞬にして昔に戻る。会場の中は中年のはずの仲間が、罪のない悪童の顔に戻り騒いでいる。違う点は、かつての担任の先生がたの前で、堂々と酒を飲み、タバコをすっているくらいのものである。話の内容もあの頃と同じで、未だに理想や夢である。皆、変わらない。(変われない?)

閉会の時刻が近づいた。これをやらないと東京へ戻れないという友がいる。「金色の民」である。全員が輪になった。熱にうなされたような一夜が過ぎ、再会を約束し74回の仲間はまたそれぞれの生活の場へ戻って行った。

この回に参加できた80数人の同期生、いろいろな都合で参加できなかった同期生。またご出席いただいた担任の先生方のご健勝を祈りながら次の機会を楽しみにしている。



学校だより

4月

清水ヶ丘にも春の息吹が感じられるようになった4月5日、286名の新入生を迎えた第106回入学式が、厳粛な雰囲気の中で行われました。新入生のうち女子は128名、全体の約45%で、前年度より25名も増えました。このところ女子が増える傾向が続き、心なしか新入生全体が華やいだ感じを受けます。学校全体では各学年7クラスの849名（内女子343名40%）で12年度がスタートしました。

入学式の感激もさめやらぬ翌6日には、学友会主催の対面式が行われました。緊張した面持ちで先輩達に迎えられ、10分以上に及ぶ校歌（第一、第二）を聞いた新入生達は、清陵高校の百年を越える歴史と伝統を実感したと思います。

15日には、例年どおり大体育館に仮設ステージが設けられ、学友会主催の新入生歓迎会が行われました。談話会では恒例の「先輩おーす!」「聞こえねー・・・」の応酬で始まった2年生のクラブ勧誘の熱弁やパフォーマンスに、一年生も驚いたことでしょう。校内のあちらこちらに、先輩たちに囲まれた一年生の生徒たちの楽しそうな輪ができ、賑やかな中にも清陵生としての自覚の深まりを実感できた一日でした。



春季南信総合体育大会

5月12日～14日を中心に行われ、多くのクラブが県大会に駒を進めました。

陸上部男子は、400M（土田）2位、800M（矢花）3位、

1500M（矢花）3位、5000M（牛山）3位、3000M障害（小平）2位、400Mハードル（土田）2位をはじめとし、400Mリレー、1600Mリレーも県大会出場を決めました。女子も400Mリレーが5位となり、県大会出場権を獲得しました。

団体競技では男子バレーが3位、男子バスケットが4位、剣道男子が4位、柔道男子が3位で県大会進出です。柔道個人戦では、66kg級において伊藤選手が見事優勝しました。また、水泳部でも個人の活躍が目立ちました。男子は酒井選手が100M背泳ぎ、200M背泳ぎで共に2位、女子では蜂谷選手がバタフライの100M、200Mにおいて優勝に輝きました。

端艇部も活躍しました。男子はダブルスカルが優勝、シングルスカルは小泉優勝、土橋3位、女子はシングルスカル4位で、共に県大会出場です。

県大会～北信越大会

陸上部は県大会においても、個人、団体いずれも活躍しました。特に土田選手は大活躍、男子400Mで見事優勝し、インターハイ出場を決めました。400Mハードルでも2位で、3000M障害の小平選手、400Mリレーの伊藤、茅野、小林、土田選手とともに北信越大会に進みました。

端艇部も、県大会出場者は皆入賞。特に男子シングルスカルの小泉選手は優勝し、インターハイと北信越両大会の出場権を獲得、このうち福井県で行われた北信越大会においては1位に輝きました。また、三井、宮坂選手の男子ダブルスカルも県大会2位で北信越大会に出場、4位に入賞しました。

この他男子バレーが県大会ベスト16まで進むなど、各競技で、熱戦が繰り広げられました。

インターハイ

8月に岐阜県を中心に開催されました。陸上部の400M土田選手は、男子個人としては初のインターハイ出場で、活躍が期待されましたが、さすがに全国のレベルは高く、予選で敗退しました。また、端艇部男子シングルスカル小泉選手も健闘むなしく準々決勝4位にとどまりました。しかし、二人にとってインターハイ出場は生涯の思い出となり、部活動引退に花を添えてくれたことと思います。

野球部

春季北信越大会南信予選では3位となり、県大会出場を果たしました。この勢いに乗って夏の選手権大会での活躍が期待されましたが、1回戦で屋代高校と対戦し、善戦むなしく5-6と惜敗、甲子園への夢は絶たれました。

なお、野球部OBの松倉良介君が立教大学のレギュラー、また花岡正樹君が慶応大学のピッチャーとして、東京六大学野球でそれぞれ活躍していることを付記しておきます。

文化系クラブ

古典ギター部は、7月30日に大阪で開催された第三十回全国ギター・マンドリンフェスティバルに、長野県代表として出場しました。昨年の県大会において優秀な成績を収め、出場権を獲得したのです。課題曲のバッハ／ブランデンブルク協奏曲第6番を猛烈に練習して大会にのぞみましたが、努力賞に留まり、あらためて全国のレベルの高さを実感しました。10月には地区合同演奏会に出演し、他校の音楽部との交流を深めました。翌夏の全国大会出場権をかけた長野県ギター・マンドリンフェスティバルは11月に行われ、優秀賞

ご子弟の免許取得には

（地元の方はスチューデントコースで
（東京・関西方面の方は合宿教習で（最短18日））

長野県公安委員会指定

茅野自動車学校

茅野市宮川5299番地 ☎ 0266-72-4111

代表取締役 矢崎 斉 男 (51回)

でしたが、残念ながら全国大会への切符は手に入れられませんでした。ギターのみで演奏する学校は、県下で本校と飯田高校の2校だけです。貴重な活動であり、今後の活躍を期待したいものです。

高校生英語ディベート県大会は松本で開催され、本校イングリッシュクラブからの2チームを含む35チームが県下各地から集い、「遺伝子組み替え食品を推進すべし」というテーマで熱いディベートを交わしました。本校の2チームは5年連続して決勝トーナメント出場を果たし、3位と6位入賞の立派な成績を上げました。

第50回清陵祭

7月15日～17日、「覇気、呼び起こせ」のテーマのもと、50回の節目の年を迎えた清陵祭が行われました。



「娯楽性も取り入れて会員の積極的な参加を促したい、しかしこれまでの伝統は守り清陵らしさを捨ててはいけない、清陵にしかできない文化祭をつくりたい」(清陵祭実行委員長篠原さん)。この二つの相反する要素をうまく満たし、皆の力を合わせてできるものを、と考え、校歌の歌詞を全校の生徒で制作する新しい試みを取り入れました。一人ひとりが歌詞一文字を掲げた自分の写真を撮り、これを寄せ集めて歌詞を完成させたのです。また、実施が危ぶまれた騎牛戦を騎羊戦として行ったり、学校側が難色を示していたお化け屋敷を改良を加えてやり抜いたことなどは、自治の精神がいかに発揮されたものといえましょう。例年どおりの談話会や討論会も行われ、自らの意見を言い合う姿に、清陵祭の伝統がしっかりと根づいていることを実感しました。

端艇大会

湖周マラソンと並ぶ秋の二大行事である端艇大会ですが、雨のため二日間も順延にな

ってしまいました。9月13日天候の回復を待ってようやくレースが開始されましたが、心地よい天気の中、予選レース3組目を迎え応援にも熱がはいってきた丁度その時、突然強風が吹きはじめ、あっけなく中止せざるをえない状況になってしまいました。残念至極なことですが、天気が相手では文句を言っても始まりません。来年こそは天気に恵まれて欲しいものです。

アルゼンチン フォルクローレ舞踏団

10月6日アルゼンチン国立民族音楽舞踊学校の先生方約十五名が来

〔平成13年度入試結果〕

卒業年月日	進 学		就 職		その他	合 計
	希望者	進学者	希望者	就職者		
平成13年3月	273	185	67.8	2	2	276
平成12年3月	290	192	66.2	0	0	290

私立大	13年度	12年度	私立大	13年度	12年度
文教大	6(5)	4(2)	日本女子大	3(0)	1(0)
青学大	6(3)	7(2)	法政大	20(10)	30(10)
学習院大	2(1)	0(0)	明治大	18(12)	28(18)
国際基督教大	1(0)	2(1)	立教大	9(1)	7(2)
慶應大	7(3)	9(3)	早稲田大	20(6)	23(13)
国学院大	8(1)	0(0)	同志社大	6(3)	9(5)
上智大	3(1)	6(2)	立命館大	18(8)	16(7)
中央大	23(13)	19(13)	その他の私立大	171(76)	143(51)
専修大	20(12)	9(1)	私立大計	364(164)	352(157)
東京電機大	3(1)	4(2)	短大計	6(2)	4(2)
東京理大	6(3)	15(12)	各種専門学校	3(0)	4(1)
日本大	14(5)	20(13)	文部省所管外大	2(0)	4(0)

*表中()は過年度生の内数

国公立大	13年度	12年度	国公立大	13年度	12年度
北海道大	0(0)	5(3)	金沢大	10(2)	3(3)
弘前大	1(0)	0(0)	山梨大	5(1)	5(0)
東北大	5(0)	6(1)	山梨医科大	0(0)	0(0)
茨城大	1(0)	4(0)	信州大	19(7)	25(5)
筑波大	2(0)	3(0)	静岡大	5(1)	6(1)
群馬大	2(1)	2(1)	名古屋大	2(1)	2(1)
埼玉大	2(2)	4(3)	三重大	1(1)	0(0)
千葉大	5(0)	9(5)	京大	2(0)	4(2)
東京大	0(0)	1(0)	大阪大	2(0)	0(0)
東京学芸大	1(1)	1(1)	奈良女大	1(1)	4(2)
東京農工大	3(3)	1(1)	広島大	1(0)	3(2)
東京工大	4(0)	2(0)	その他の国立大	17(5)	15(6)
東京医科歯科大	0(0)	0(0)	国立大計	108(28)	122(43)
東京芸大	0(0)	0(0)	高崎経大	1(1)	0(0)
お茶の水女大	3(1)	0(0)	東京国立大	2(0)	4(3)
一橋大	1(0)	1(1)	横浜市大	0(0)	1(0)
東京外国語大	4(0)	4(0)	都留文大	1(0)	3(0)
横浜国立大	2(1)	5(2)	他の公立大	10(2)	8(4)
新潟大	7(0)	7(3)	公立大計	14(3)	16(7)
上越教育大	0(0)	0(0)	国公立大計	122(31)	138(50)

整形外科 外科 産科 婦人科

立 木 医 院

立 木 正 純 (38回) (整形外科)

(日本体育協会公認スポーツドクター)

(山本喜市先生顕彰碑保存会会長)

(全日本スキー連盟強化本部スポーツドクター)

立 木 委 枝 (産婦人科)

〒392-0004 諏訪市諏訪1丁目22-24

電話 0266-52-1074

病院

田中クリニック

院 長 (外科・麻酔科) 田中 正利 (第52回)

副院長 (内科・小児科) 田中マキ子

諏訪市元町18番11号 ☎(0266)52-2343

校され、大体育館でアルゼンチン各地の個性的でエキゾチックな情景に満ちたステージをくりひろげました。色彩豊かな民俗衣装をまとったミュージシャンとダンサー達の演ずるサンバやタンゴなどのアルゼンチン各地の民謡・群舞の数々は、生徒たちをすっかり魅了しました。舞踊音楽公演に来日中の合間をぬい、茅野で行う国際ロータリークラブ地区大会のために来諏した同楽団ですが、総合演出監



督の宮下美和さんと本校の丸野前教頭が小学校時代の同級生だったことから、本校での公演が実現しました。当日は音楽の授業にも参加していただき、生徒たちも踊りの輪に加わってダンスの手ほどきを受けました。家庭科の授業の生徒たちが、いなり寿司やみそ汁などの日本の伝統料理で楽団員をもてなし、交流を深めました。



湖周マラソン

10月25日、小雨が降りしきるあいにくの天気の中、第87回諏訪湖湖周マラソンが行われ、生徒約800人に加えOB13人も参加し健脚を競いました。

午前9時に女子、20分遅れで男子がそれぞれ石彫公園をスタートし、18.5キロのコースに挑みました。生徒たちはこの日に備えて日頃の授業でトレーニングに励んできた成果を遺憾なく発揮し、秋雨に煙る秋色の景色を楽しみながら精一杯走りました。うしまさ坂では、恒例になったOBの皆さんによるスタミナ補給のレモンの輪切りが振る舞われ、元気づけられました。湖周マラソンOB・OG会（井上彦次会長）の会員の皆さんも全国各地から参加されました。77歳のご高齢の方もおられましたが、生徒たちと一緒に汗を拭い、ゴールでは完走賞のリングをかじりながら互いの健闘を讃え合う和やかな光景も見られました。

今回から体育科の提案により、うしまさ坂を登った証として一人ひとりの手にスタンプを押すことにしました。スタンプのデザインは全校から募集されたものも含めて全部で5種類、「リングランナー」、「八代將軍足利牛政」などのユニークなもので、選手たちの心の中にも、生涯消えない素晴らしい思い出がしっかりと刻まれたことでしょう。

大学入試

12月に入り、3年生はいよいよ受験の時が迫ります。11日からはセンター試験対策の特別編成授業が始まりました。1月20、21日のセンター試験当日には247名（3年生の約89%）が受験しました。その後も国公立2次試験・私大入試



医療法人 順 恵 会 伊藤外科医院

長野県医師会理事

院長 医学博士 伊藤隆一（第58回生）

長野県上伊那郡辰野町大字伊那富7483
TEL 0266-41-3388

地下1550mから湧出の
PH9.5の天然温泉アルカリ単純泉 浴室棟新築

日 観 連

信州ビーナスライン霧ヶ峰高原

ヒュッテ霧ヶ峰

館主 有賀文夫（68回）

〒392-0008 長野県諏訪市霧ヶ峰
TEL 0266-57-0333（代）
FAX 0266-58-1730
hutte-k@crocus.ocn.ne.jp



対策の特別編成授業が行われ、最後の追い込みに全力を注ぎました。進学結果の主だったところをまとめた表を掲げましたので、ご覧ください。

卒業式 3月8日第53回卒業式が行われ、104回生276名が清水ヶ丘から巣立って行きました。学校長は民主主義のあり方について「その理念の経過や意義を原点に立ち返って問い直し、議論を繰り返して行く姿勢を日本人の行動の原理として確立し積極的に新しい世界へ挑戦して欲しい」とはなむけの言葉を送りました。宮坂久臣同窓会長からは、「グローバルスタンダードの社会制度の中で思い切り自分を発揮し、目的に邁進して欲しい」と卒業生

に激励の言葉をいただきました。式終了後は学友会主催の談論会が開かれ、感謝の言葉や新世紀の夢などをステージから熱っぽく呼びかけ、卒業式に花を添えてくれました。
(教頭 堀金達郎 記)

本年度の主な行事

- 4月 4(水)第107回生入学式 21(土)新入生歓迎会
- 5月 2(水)クラスマッチ 11(金)～13(日)南信高校総体
21(月)～23(水)1学期中間考査
- 6月 2(土)～3(日) 県高校総体 5(火)クラスマッチ
13(水)芸術鑑賞 27(水)～30(土)1学期期末考査
- 7月 14(土)～16(月)清陵祭 25(水)～8月19(日)夏期休業
- 9月 10(月)端艇大会 17(月)～19(水)2学期中間考査
- 10月 2(火)クラスマッチ 24(水)湖周マラソン
- 11月 6(火)～9(金)1・3年2学期期末考査、2年生研修旅行
19(月)～22(木) 2年生2学期期末考査
- 12月 1(土)～21(金)保護者懇談会 6(木)～7(金)3年学年末考査
27(木)～1月 7(日)年末年始休業
- 1月 15(火)～17(木)1・2年3学期中間考査
19(土)～20(日)センター試験
- 2月 5(火)～11(月)寒中休業 5(火)～7(木)スキー教室
- 3月 2(土)卒業式 4(月)～7(木)1・2年学年末考査
13(水)学力検査 25(月)終業式・離任式

平成12年度末教職員人事移動

[転出] [転入]

氏名	転出先	教科	氏名	前任校
山田 洋一	総合教育センター専門主事	数 学	堀金 達郎	篠ノ井高等学校 教頭
名取 正康	退職(東海大第三高校へ)	〃	牧島 則夫	木曽高等学校
		〃	澤柳 博文	梓川高等学校
小林 敏一	木曽高等学校	国 語	小澤 晋	諏訪養護学校
山口美智雄	退職	〃		
小高 清恵	退職	〃		
田中 延男	中条高等学校	地歴公民	駒瀬 隆	軽井沢高等学校
守屋 光浩	退職(上伊那農業高等学校へ本採)	〃		
丸野 範彦	野沢南高等学校 校長	英 語	笠原 敏彦	富士見高等学校
百瀬 公人	富士見高等学校	〃	西村 方意	非常勤講師
木下 芳英	退職	理 科		
堀 由美	飯山北高等学校	実習補佐	奈良井弥生	実習助手
渡辺 信悟	諏訪地方事務所	事務長補佐	栗林 高広	長野建設事務所
古山 幸年	退職	校用技師	津田孜々雄	臨時的任用

平成13年度
出身中学校別生徒数

中学	1年		2年		3年		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女
岡谷西部	12	4	12	4	13	5	37	13
岡谷北部	6	10	9	9	11	11	26	30
岡谷南部	3	6	3	5	4	3	10	14
岡谷東部	8	11	17	9	7	12	32	32
下諏訪	5	8	9	9	21	5	35	22
下諏訪社	6	3	5	6	7	4	18	13
上諏訪	8	14	16	5	12	9	36	28
諏訪	8	8	8	9	11	7	27	24
諏訪西南	8	5	7	7	12	5	27	17
諏訪永	9	7	4	14	15	4	28	25
茅野北部	11	2	14	2	9	3	34	7
茅野東部	4	6	12	10	7	6	23	22
長茅野	9	4	8	4	15	5	32	18
原	4	4	6	9	8	5	18	18
富士見南	7	4	5	6	3	6	15	16
富士見南	0	2	1	5	2	3	3	10
富士見南	11	6	11	4	10	3	32	13
辰野	6	8	9	6	10	3	25	17
小野	2	1	1	1	1	0	4	2
その他	3	3	1	4	3	3	7	10

訃 報 ①		謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。(平成 13 年 4 月 30 日まで)																			
お名前	逝去年月日	回	後藤 倉美	H.10.2.17	29 回	宝月 欣二	H.11.12.19	32 回	小口 九郎	H.12.6.17	〃	小松 豊治	H.9.12.	〃							
			岩本 尚久	H.12.8.23	〃	横内 啓介	H.12.2.7	〃	諏訪 政司	H.12.11.19	〃	古田 茂正	H.10.12.7	〃							
片倉 五郎	H.12.5.21	21 回	三輪 弥一	H.12.8.3	〃	五味 正人	H.11.12.30	〃	白鳥彦五郎	H.11.11.18	〃	飯田 得二	H.13.3.16	35 回							
小口 長重	H.12.6.10	〃	有賀 三吉	H.12.12.3	〃	古村 義典	H.12.5.3	〃	小口 博明	H.12.11.24	〃	笠原 昌次	H.11.1.19	〃							
藤沢 健三	H.11.10.25	23 回	林 恒幸	H.12.12.27	〃	笠原 正明	H.12.5.28	〃	原 謙治	H.12.7.28	34 回	神林 三男	H.10.11.28	〃							
伊藤 英策	H.12.2.28	24 回	小口 金七	H.13.2.9	30 回	矢崎 良房	H.11.11.7	〃	山岡喜久男	H.12.2.21	〃	細川 光貞	H.13.1.7	〃							
金子金次郎	H.11.5.31	26 回	小林 栄一	H.12.9.27	〃	林 喜六	H.11.11.28	〃	阿部 義理	H.12.8.15	〃	藤森 俊男	H.12.12.20	〃							
矢島 成重	H.11.9.1	〃	小平 啓	H.12.1.11	31 回	増沢 三郎	H.9.6.20	33 回	中島 三男	H.10.11.24	〃	両角 貞男	H.12.5.4	36 回							
小林 直人	H.11.4.6	27 回	小林 吾郎	H.11.2.17	〃	樋口 潔	H.11.12.6	〃	山田 年久	H.12.11.9	〃	堀田 幸孝	H.11.6.27	〃							
林 多	H.13.2.10	28 回	河西 保衛	H.12.12.26	〃	町田 茂	H.12.4.16	〃	下条 直道	H.9.2.10	〃	小口 嘉治	H.11.2.28	〃							

訃報 ②

お名前	逝去年月日	回	武居 和男	H.11.11.5	40 回	横内 功	H.13.4.2	〃	桃井 保久	H.12.10.17	〃	浜 邦彦	H.12.12.15	〃
三井 忠	H.13.2.18	36 回	両角 孝平	H.12.5.9	〃	永田 満夫	H.12.8.17	46 回	藤森 正也	H.12.8.19	〃	田中 俊次	H.11.4.16	60 回
小林 公二	H.10.10.7	〃	長田 五郎	H.12.5.1	〃	矢ヶ崎 博優	H.12.12.28	〃	原田 充善	H.12.3.15	52 回	片山 正敏	H.13.2.4	61 回
服部 勉	H.11.2.20	〃	宮本 敦	H.12.12.26	〃	名取 麓	H.6.6	47 回	小林 義章	H.12.8.23	〃	鮎沢 邦彦	H.11.1.13	〃
藤森 久弥	H.11.1.31	〃	小口 敏武	H.13.3.17	〃	中村 典村	H.12.8	〃	加納 満和	H.12.7.17	55 回	進藤 昭次郎	H.10.9.22	〃
伊藤 斗智彦	H.13.2.18	37 回	林 牧男	H.10.9.18	〃	赤羽 昭正	H.13.2.18	〃	北川 慎一	H.12.7.30	〃	小口 賢而	H.12.7.7	〃
田村 正邦	H.12.4.21	〃	横田 利治	H.13.1.8	41 回	鮎澤 瑞穂	H.12.10.29	〃	名取 睦夫	H.12.7.9	56 回	田村 明智	H.8.10.31	62 回
岩波 章	H.13.1.28	〃	増沢 謙太郎	H.12.8.29	〃	桜井 真	H.12.8.18	〃	武藤 光世	〃	〃	栗林 良次	H.10.3.20	63 回
小林 由蔵	H.9.12.24	〃	細田 甚四郎	H.12.10.21	〃	後町 修爾	H.11.8.18	48 回	平出 勝誠	H.11.6.22	〃	降幡 健司	H.12.1.24	〃
依田 健蔵	H.8.8	〃	小松 信夫	H.12.7.27	42 回	小平 恒彦	H.13.3.27	〃	三井 健	H.10.9.30	〃	宮坂 昌輝	H.11.4.1	〃
金子 佐十郎	H.11.3.30	〃	飯田 正夫	H.12.8.7	〃	五味 雅彦	H.13.3.3	49 回	有賀 吉弘	H.12.8.1	57 回	高橋 満好	〃	65 回
大槻 倉二	H.12.6.29	38 回	河西 了吾	H.10.10.28	43 回	関 貞行	H.8.5.29	〃	岩下 允交	H.13.4.15	〃	今井 敬司	H.8.11.30	66 回
笠原 剛	H.12.2.8	〃	中村 敏郎	H.12.3.1	44 回	米沢 正雄	H.12.3.7	〃	今井 貞雄	H.13.4.17	〃	小林 正雄	H.12.5.5	69 回
林 武	H.8.10.2	〃	安田 時雄	H.12.3.2	〃	両角 喜美雄	H.13.2.2	50 回	伊藤 茂樹	H.12.8.29	58 回	小川 今朝一	H.12.8.19	〃
箕輪 弘	H.11.7.30	〃	竹淵 繁雄	H.12.5.3	〃	北沢 龍郎	H.12.6.11	〃	竹内 直文	H.12.11.26	〃	岩波 均	H.11.8.30	71 回
岩波 義基	H.12.9.15	〃	小池 衆次	H.11.11.14	〃	山口 豊	H.11.10.3	〃	北沢 直昭	H.12.10.29	〃	林 昭英	H.12.11.24	75 回
五味 行治	H.12.11.11	39 回	山辺 泉	H.10.11.23	〃	林 祐三	H.12.9.6	〃	栗林 武	H.7.12.7	〃	高谷 潔	H.12.10.16	旧職員
川村 進	H.12.4.22	〃	小口 勝弘	H.13.3.23	45 回	宮坂 英吉	H.11.10.25	〃	藤森 良助	H.13.1.12	59 回	〃	〃	〃
林 武朗	H.12.5.26	〃	武部 三嘉	H.12.3.1	〃	五味 孟治	H.7.7.6	51 回	中村 幸弘	H.12.2.13	〃	〃	〃	〃
吉田 芳郎	H.12.6.6	〃	矢崎 守正	H.11.9.4	〃	島津 昭	H.12.6.23	〃	宮島 千秋	H.10.6.4	〃	〃	〃	〃
			三輪 光弘	H.12.5.28	〃	永田 幸雄	H.11.12.24	〃	細田 祐一	H.12.10.2	〃	〃	〃	〃

事務局だより

◆1月末は記録的な大雪で、関西支部総会に諏訪からは出席できませんでした。季節は巡り地蔵寺山門の桜が見事な4月23日、道志社先輩同窓物故会員慰霊法要が行われ、今年は曾て清陵生であったところ悪戯をした鯉の供養も。心ある方々のご芳志を得、地蔵寺ご住職篠崎知足（59回）の読経のうちに沢山の鯉が放たれました。

◆昨年春43回生から43万円の寄付を頂きましたこと、会報26号で報告済みです。同窓会事務室で有効な備品の購入にというご要望で、相談のうえ寄付金相当額をコピー機の新調に使わせて頂きました。茲に43回生山会の皆様へ心からお礼を申し上げ、ご報告致します。

◆クラブ後援会入会勧誘を始め事務局が為すべき仕事多々ありますが、手が回らず申し訳ありません。そのような中、60回生では学年会の折に学年幹事・役員のご努力の結果、大勢の後援会入会や終身会費の納入を頂きました。有り難うございました。

◆昨年度の寄贈図書は次の通り。有り難うございました。今後とも著書等上梓なさった節は「清陵OB文庫」へご寄贈頂ければ幸いです。

- ・小野浩司（90回）著「シュミレーティングで学ぶアナログ&デジタルフィルタ入門」
- ・矢崎好夫（42回）著「大東亜戦争の大義—日本青年に贈る—」
- ・立川義明著「宮大工—諏訪の和四郎ノート—」
- ・矢崎幸生（61回）著「ミクロネシア信託統治の研究」
- ・小林正樹（47回）「海こそなけれ」

（NBS—平成12.8.15放映ビデオ）

- ・小林悟郎（56回）「琵琶湖就航の歌 うたの心」（琵琶湖就航の歌発行会編著）
- ・柳平啓明（61回）著「自尊好縁」
- ・渡部 清（56回）「渡部清の世界 展」目録
- ・武井秀夫（50回）著「ヒマラヤ杉—ある青春の彷徨」、
「脱ダム讃歌—下諏訪ダム反対運動の軌跡」
- ・藤森一平（43回）氏より大先輩等の次の本を。「霧ヶ峰の植物」（本田正次・飛田広共著）、「信濃二千六百年史」（今井登志喜著）、「気象感觸」（藤原咲平著）、「青春獨逸派」「獨逸浪漫主義」（共に茅野蕭々記）、「十五人の生物学者」（篠遠喜人著）、「学友会誌」第37～40号（4冊）、「報国團誌」第41、42号

◆関西支部長河西啓介（42回）氏の「ヨーロッパの詩情—河西啓介写真展」の案内を頂きました。9月5日～24日まで鬼無里村の「いろは堂ギャラリー」にて。展覧会といえは昨年秋（11月）諏訪丸光にて、郷里で初の「渡部清の世界展」が開かれ好評でした。渡部清（56回）氏は、創立百周年の博浪沙校歌碑に健筆をふるわれ、またNHKテレビのタイトル等でご存じの方も多と思います。県内での「第2回渡部清の世界展」が10月18日～23日まで、長野市「ギ

ャラリー 82 昭和通り」にて。



◆本年度、同窓会事務室のメンバーは下記のとおりです。

学校同窓会係

- （主任）五味寛人（64回 国語）
- 今井保寿（62回 理科）
- 原 護（66回 理科）
- 藤森政明（76回 英語）
- 笠原敏彦（83回 英語）
- 赤羽祐史（90回 英語）

それに事務局 武居浩明（56回）ですが、武居は都合により週2日（月・金）の出勤にて、同窓生の皆様また学校（殊に事務室）にも多大な迷惑をおかけしておりますこと、誠に申し訳ありません。

事務局 Tel 0266-58-0359 Fax 0266-57-0348

編集後記

2001年21世紀となり、母校も107回目の入学生をむかえた。この新世紀を生きる現在の清陵生にスポットを当てて会報の編集をしました。この新世紀を生きる彼らはどんなことを考えているのか、率直に語ってもらいました。座談内容は手を加えてありません。編集子の意図する特集になったのかいささか心もとないところもありますが、どう読まれるかは同窓生諸兄におまかせしたいと思います。同窓会総会の当番幹事は今年は我々68回生です。盛大な定期総会にしたいと思います。

68回学年幹事 伊藤八郎 会報編集委員長 大森尚人 委員 村上和彦 藤森徳雄